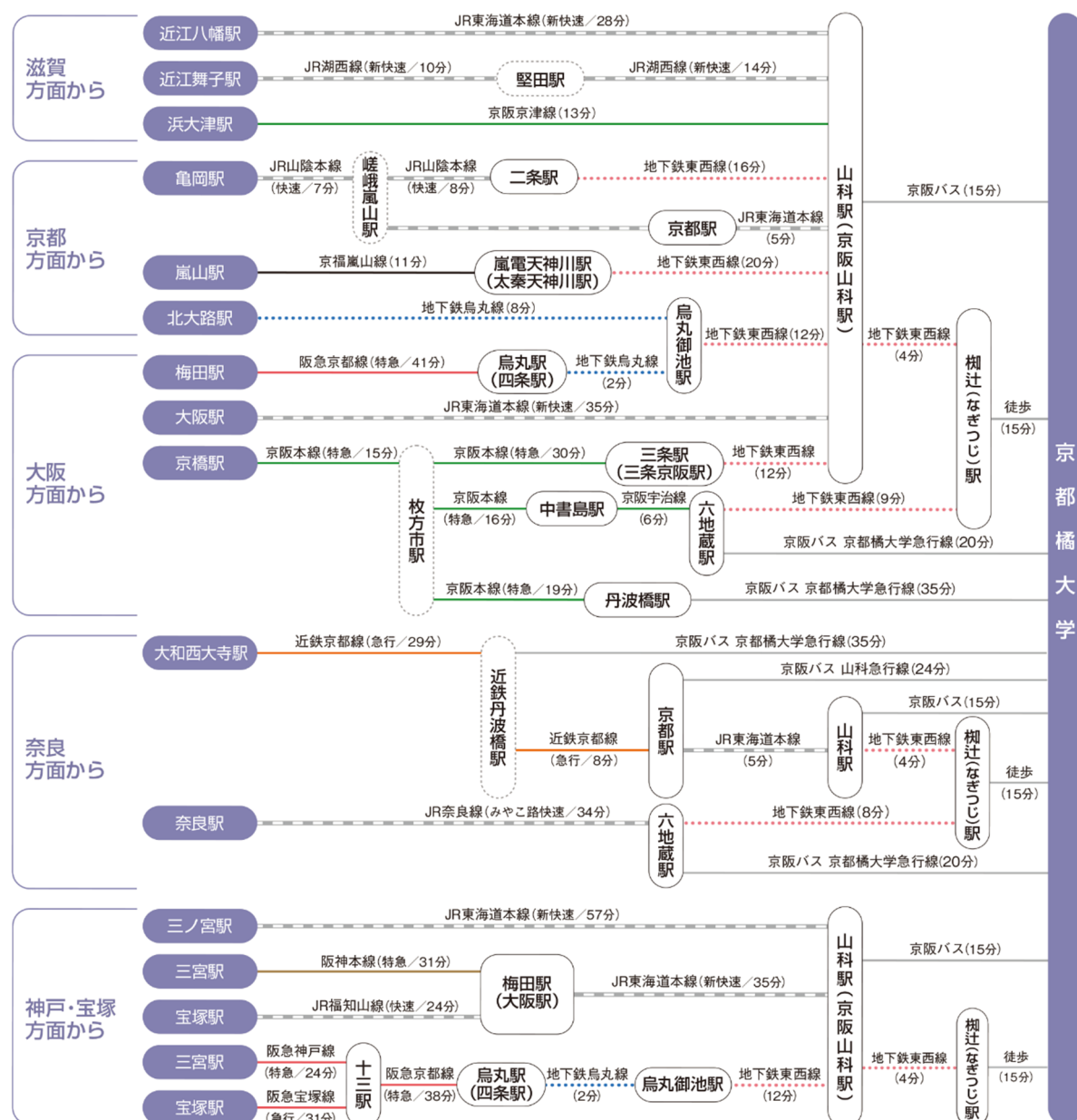


日本社会心理学会
第 63 回大会プログラム

京都橘大学

2022 年 9 月 14 日（水）・15 日（木）

大会会場への交通案内①



ご注意

往路につきましては、山科駅からのバスかタクシーのご利用をお薦めします。本学には駐車場がございませんので、公共交通機関でお越しいただきますようお願いいたします。

- ・JR 山科駅から京阪バス 京都橋大学行き(直通 16 分, 26A 系統 18 分)

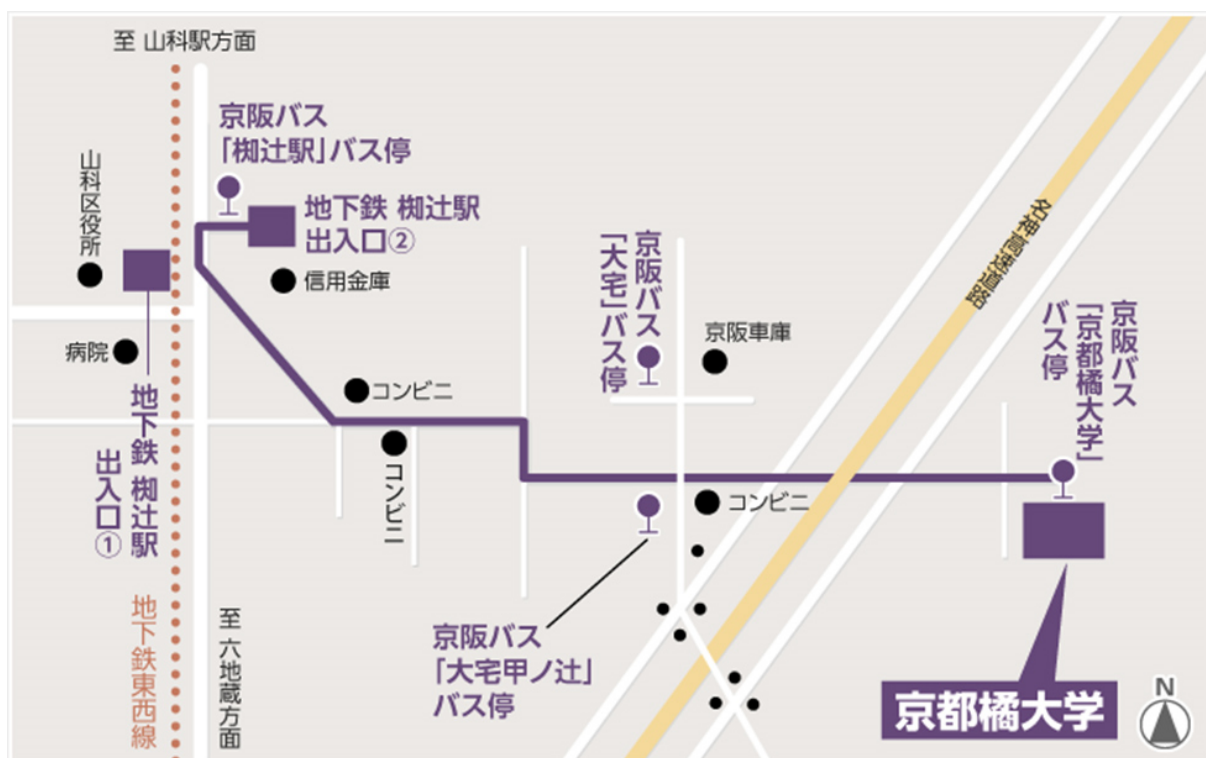
※ 大会期間中は、山科駅ー京都橋大学間で臨時バスを増便します。臨時バスを含めた運行スケジュールは、大会 Web サイトやメールニュースでお知らせします。

- ・JR 山科駅からタクシーにて 15 分程度(料金は 1300 円～1500 円程度)

※タクシーご利用の際は、京都橋大学のバスターミナル、もしくは優心館(正門を入ってすぐの建物)までとお伝え頂ければ会場前に到着します。

- ・このほか、京都駅八条口・丹波橋駅・六地藏駅からのバスもございます。詳細は本学 HP をご覧ください。

大会会場への交通案内②



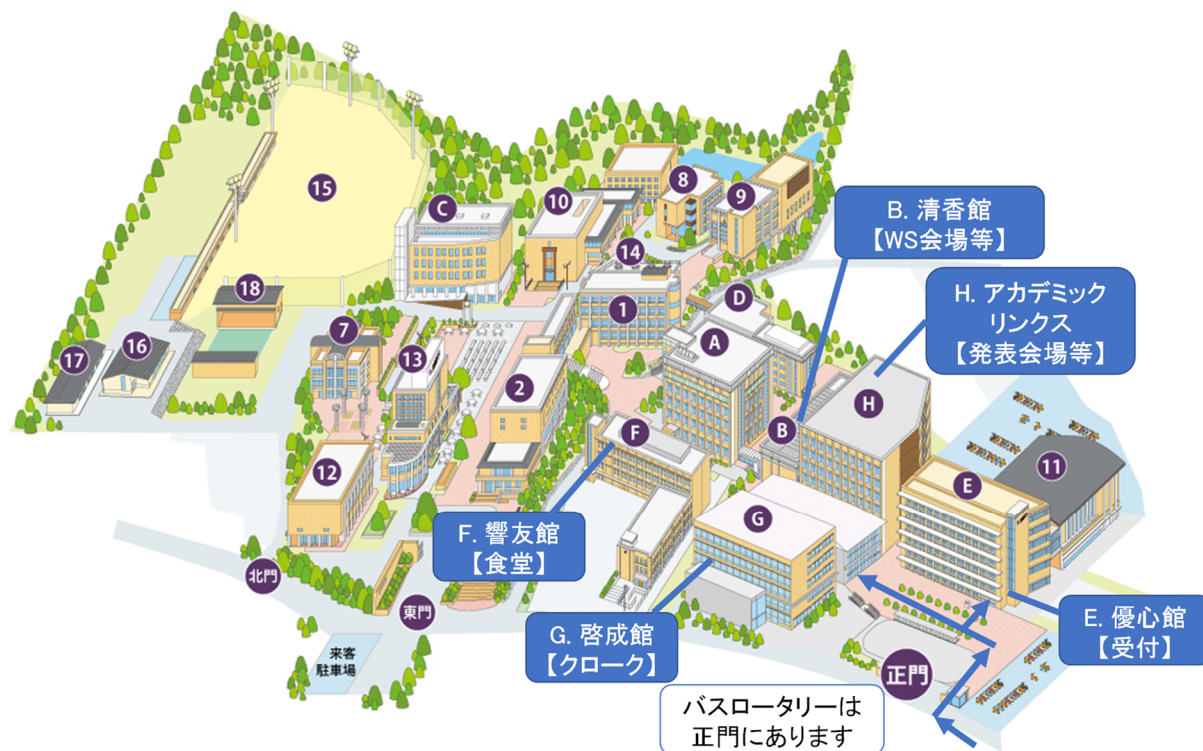
ご注意

京都橘大学の最寄り駅は、地下鉄東西線 柳辻(なぎつじ)駅となります。

柳辻駅から京都橘大学までは、東へ徒歩約 15 分です。

※大会スタッフによる駅周辺での案内はいたしません。柳辻駅から本学までは道が入り組んで分かりづらい
ため、推奨しておりません。往路につきましては、山科駅からのバスかタクシーのご利用をお勧めしま
す。

大会会場への交通案内③



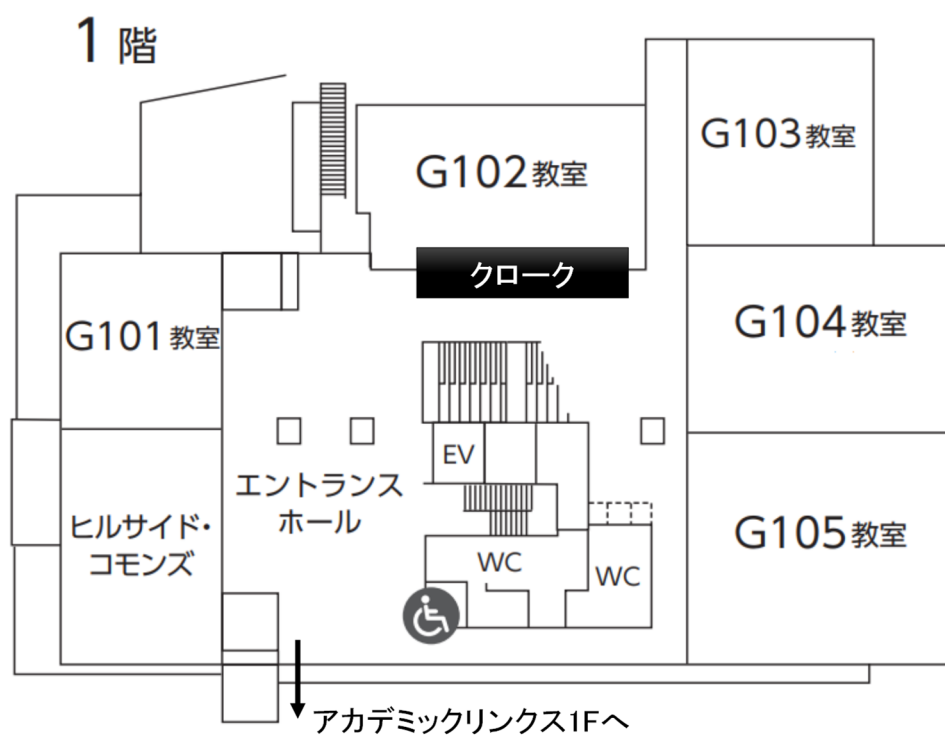
- ①「正門」をご利用ください。
- ②受付へお越しの方は、正門から最も近い建物である優心館にお越しください。
- ③直接発表会場に向かわれる方は、優心館を右手に見ながらアカデミックリンクスにお進みください。アカデミックリンクスは、ガラス張りの建物です。アカデミックリンクスの出入口は、地階となります。そこからエスカレーターもしくは階段で上がっていただいたフロアが1階になります。
- ④口頭発表・ポスター発表会場は、アカデミックリンクスの3階・4階です。
- ⑤WS会場の1つである清香館2階(B201会場)は、アカデミックリンクス2階と繋がっています。
- ⑥クロークのある啓成館は、アカデミックリンクス1階と繋がっています。

受付	優心館 1 階
クローク	啓成館 1 階 G102 教室前
口頭発表・ポスター発表・WS	アカデミックリンクス H301・H302・H401・H402, 清香館 B201
シンポジウム	アカデミックリンクス H301
総会	アカデミックリンクス H301
休憩室	アカデミックリンクス H501
書籍等展示	アカデミックリンクス H401 および 4 階通路

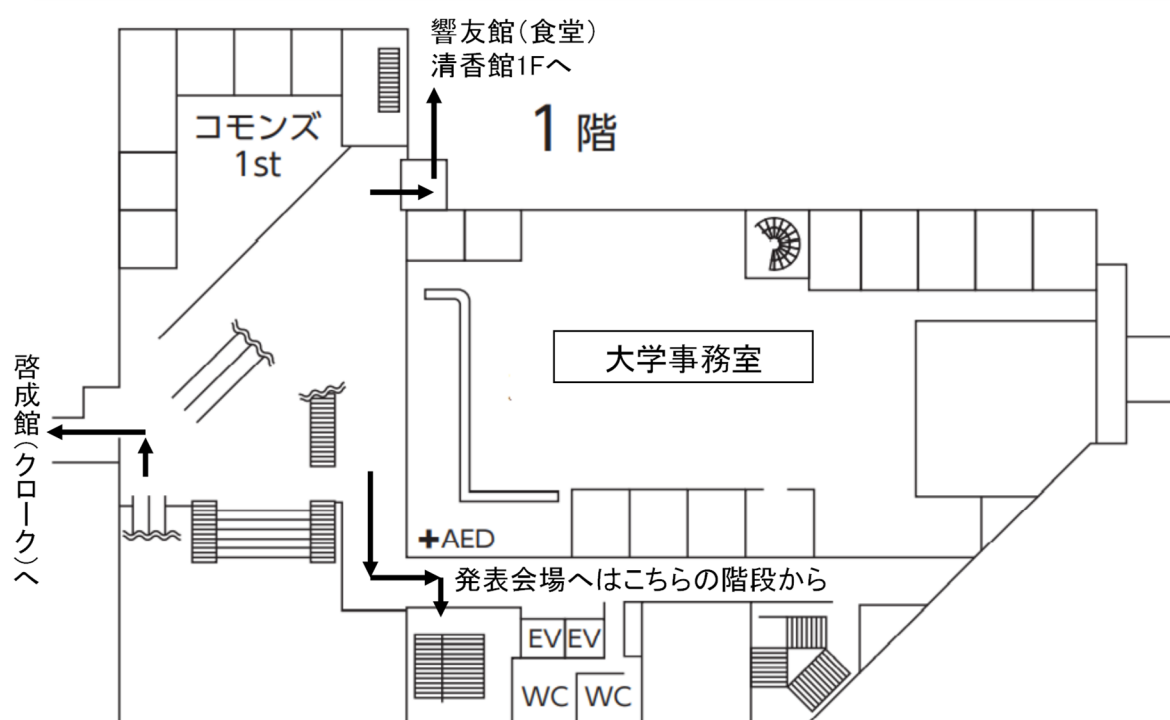
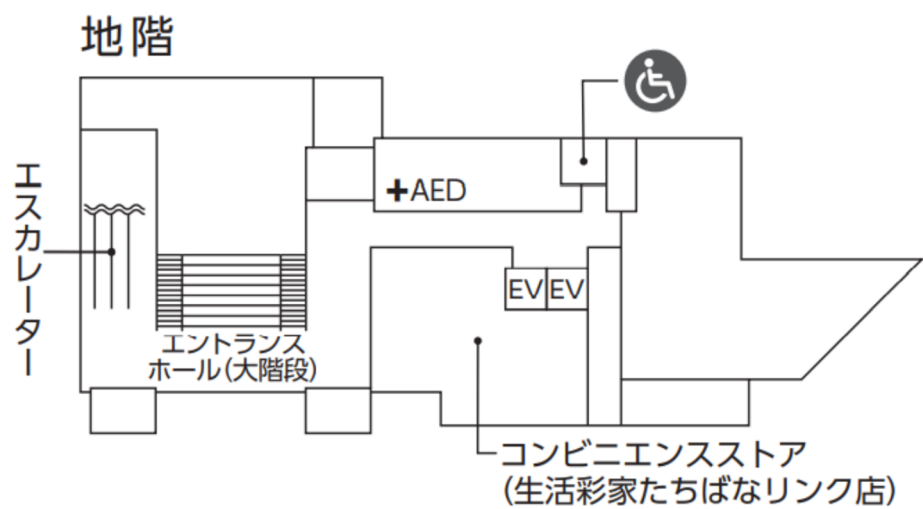
優心館

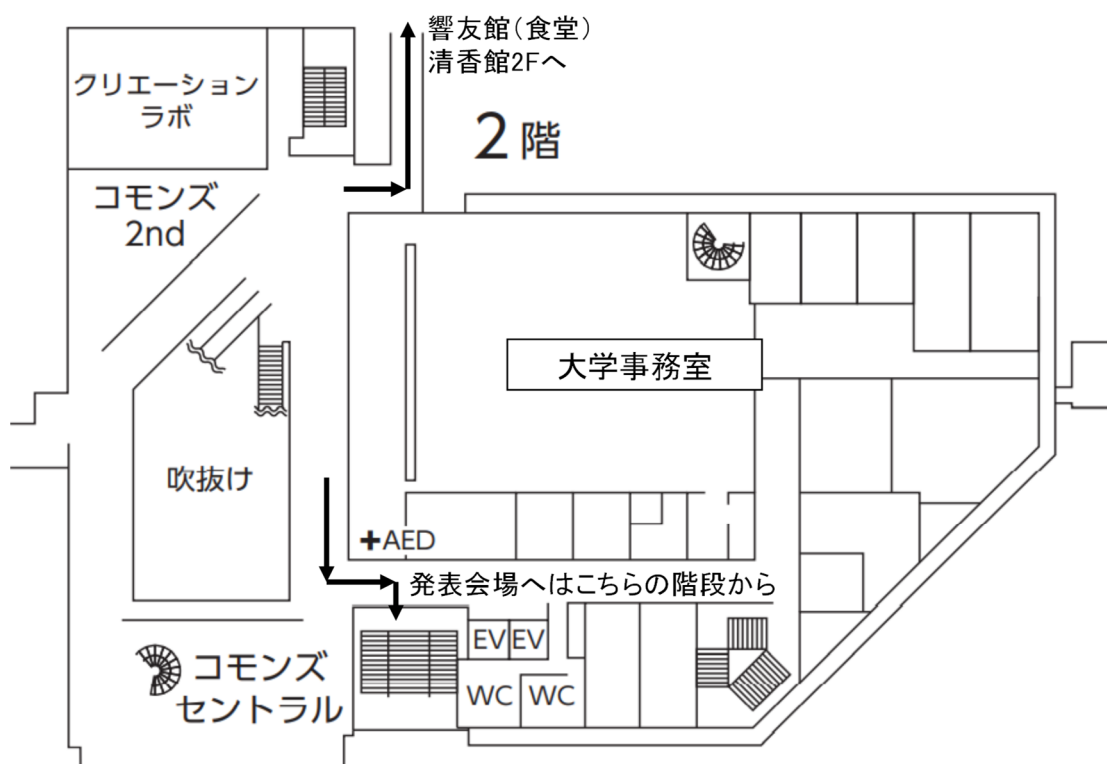


啓成館

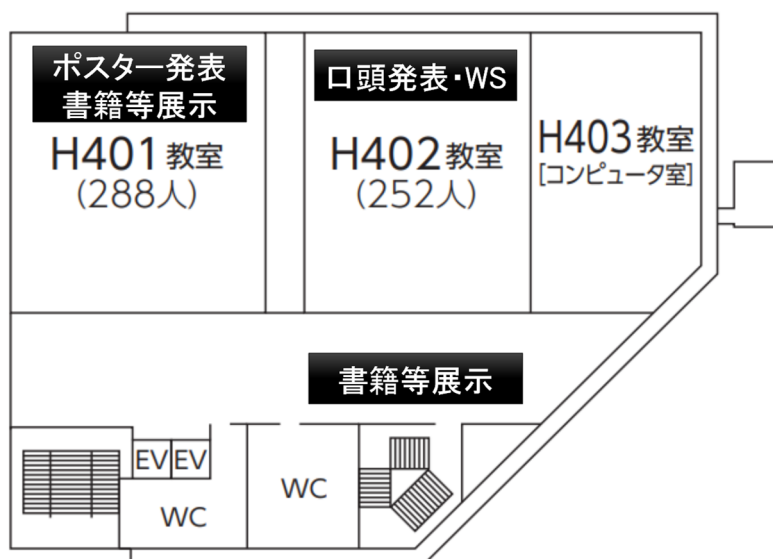


アカデミックリンクス

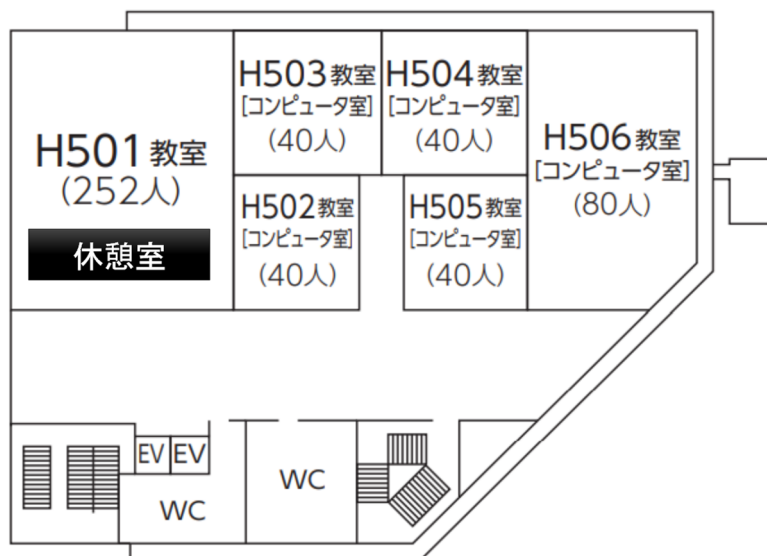




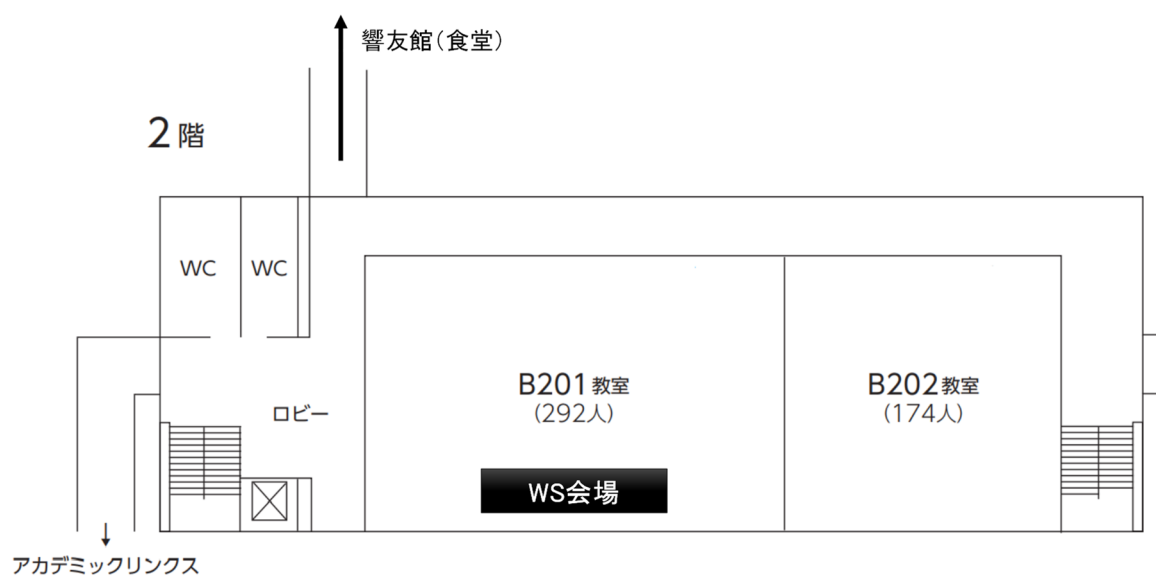
4 階



5 階



清香館



大会に関するご案内

1. 受付

受付は、両日ともに 9 時 00 分から優心館 1 階にて行います。予約参加の方は、プログラムに同封してある名札を必ずご持参いただき、受付付近、もしくはアカデミックリンクスで大会用ネームホルダーを受け取っていただければ、受付の必要はありません(名札を紛失された方は受付でその旨お申し出ください)。当日参加の方は、受付で参加申込用紙にご記入いただき、参加費をお支払いください。大会用ネームホルダーを受付付近にご用意いたしますので、ご自身で名札にお名前を記入してください。大会会場内では、名札を必ず着用してください。当日参加の名誉会員、臨時会員、賛助会員の方は受付にお越しください。

2. 諸費用

①大会参加費(当日)	正会員(一般)	8,000 円
	正会員(院生)	5,000 円
	準会員・学部学生(要学生証呈示)	2,000 円
	臨時会員	9,000 円
	名誉会員	無料
②論文集購入費(当日)		6,000 円

※名誉会員の方は、大会参加費・論文集購入費は無料です。

3. 総会・表彰式

1 日目の 12 時 45 分より、アカデミックリンクス H301 にて開催します。

4. 研究発表・ワークショップ

口頭発表とワークショップは、アカデミックリンクス H301, H302, H402, 清香館 B201 教室で行います。

ポスター発表は、アカデミックリンクス H401 教室で行います。

5. 準備委員会企画シンポジウム

1 日目の 14 時 30 分より、アカデミックリンクス H301 にて、準備委員会企画シンポジウムを開催します。

6. クローク

クロークは、啓成館 1 階 G102 教室前に受付を設置します。お預かり時間は、1 日目は 9 時 00 分から 18 時 00 分まで、2 日目は 9 時 00 分から 17 時 30 分までです。必ず当日中にお引き取りください。貴重品やパソコンはお預かりできません。

7. 休憩室・書籍販売・機器展示

大会期間中は、休憩室をアカデミックリンクス H501 教室に、書籍販売・機器展示コーナーをアカデミックリンクス 4 階ホールおよび H401 教室内にそれぞれ設けます。休憩室では飲み物と小菓子をご提供します。休憩室の開室は 1 日目は 9 時 00 分から 17 時 30 分まで、2 日目は 9 時 00 分から 16 時 00 分までです。

8. 昼食・売店等

1 日目・2 日目ともに、昼食の提供はありません。京都橘大学付近には、飲食店があまり多くありません。学内の食堂(響友館 2 階)や、学内のコンビニエンスストア(アカデミックリンクス地階)は利用可能です。食堂は、両日とも 10:45 から 14:00 まで営業しています。

9. 喫煙場所

キャンパス内は、図書館南側外部に設置された喫煙スペース以外は全面禁煙となっています。指定場所以外での喫煙はご遠慮ください。

10. 託児サービス

大会期間中、月齢 2 ヶ月以上 12 歳(小学校 6 年生)までのお子様を対象とした託児所を設置します。時間は、1 日目は 9 時 00 分から 18 時 00 分まで、2 日目は 9 時 00 分から 17 時 30 分を予定しています。場所は申込者に別途お知らせします。申込方法等は「託児のご案内」ページ、大会 Web サイトをご参照ください。

11. 掲示板およびコミュニケーション・ボード

掲示板とコミュニケーション・ボードを、アカデミックリンクス1階に設置します。大会本部からの連絡事項を掲示します。また、コミュニケーション・ボードには、研究に関する事柄であれば自由に掲示できます。

12. ソーシャルメディア利用についてのお願い

ソーシャルメディア(Twitter や Facebook など)において、第三者が、研究発表の内容を録音・録画・撮影したり、中継・実況・報告等をオンラインで公開する場合は、たとえ用途が個人用であったとしても、事前に発表者の許可を得てください。また、発表者も、特にそれを抑制したい場合には、ご自身の態度の明示にご協力ください。参加者相互が気分を害することがないよう、充分にご配慮ください。

13. 無線 LAN 接続について

本学では、eduroam により Wi-fi 環境を利用できます。eduroam とは、世界中にある eduroam 参加機関でキャンパスの無線 LAN (Wi-Fi) を相互に利用できるサービスです。事前に所属機関で eduroam アカウントをご確認の上ご利用ください。

14. スタッフ・大会本部・緊急連絡先

スタッフは大会ロゴがプリントされた紫色の T シャツを着用しております。ご用の際はお気軽にお声がけください。

大会本部は、優心館 E101 教室に設けます。会場外からの緊急のご連絡は、jssp2022@tachibana-u.ac.jp までお願いします。

15. 学会活動委員会企画

2 日目の 12 時 10 分より、清香館 B201 にて、若手会員向けのキャリアアップセミナーを開催します。事前の参加申し込みが必要です（定員に達し次第、申し込みを打ち切ります）。詳しくは、学会の ML 等でご確認ください。

16. 常任理事会・理事会・編集委員会

常任理事会・理事会・編集委員会は、オンラインで開催されます。詳しくは各連絡用メーリングリストでご案内します。

17. 新型コロナウイルスへの対応

本大会での新型コロナウイルスへの対応は、開催時のガイドラインに従います。詳細は大会ホームページをご覧ください。

発表者へのご案内

1. 口頭発表

受付と発表準備

発表者は可能な限りセッション開始 10 分前までにご来場ください。座長は全発表者の来場を確認してください。プレゼンテーションに備え付け PC をご利用の場合はデータをデスクトップ上にコピーしてください(セッション終了後すぐに準備委員会の責任において削除します)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしてください。

発表成立の要件

(a)発表論文集への論文掲載, (b)当日の発表と討論への参加の両件を満たすことで、公式発表として認められます。当日の発表と討論は、責任発表者(プログラム中の○印)が行ってください。

機器

各会場にはプロジェクタとスクリーンが設置されています。ノート PC (OS: Windows10, Microsoft Office PowerPoint2016)を用意します。データは USB メモリでご持参ください。Mac や iPad 等の場合はお手持ちのものをお使いください(プロジェクタとの接続アダプタはご用意できません)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしておいてください。レーザーポインタも準備します。

時間

口頭発表での 1 件あたりの持ち時間は 15 分で、発表時間 12 分、質疑応答 3 分です。時間厳守へのご協力をお願いします。発表中は、以下のとおり合図をします。

1 鈴: 10 分経過, 2 鈴: 12 分経過(発表終了), 3 鈴: 15 分経過(質疑応答終了)

配布資料

各自で必要と思われる部数をご準備の上、発表会場にご持参ください。アカデミックリンクス地階のコンビニにコピー機はありますが、常時営業しているわけではありませんので、事前にコピーし、持参されることを強くお勧めします。セッション開始前に配布資料を会場係にお渡しいただければ配布をお手伝いし、セッション開始後は会場出入口付近に置かせていただきます。

会場レイアウト

会場により、規模や座席配置等が異なります。会場案内平面図に収容定員など参考情報を記載しておりますのでご確認ください。

2. ポスター発表

受付

発表者は、セッション開始 5 分前までにポスター会場前の発表受付にお越し下さい。発表者用のネームプレートをお渡しします。受付は、各セッション開始 20 分前から開始します。

発表成立の要件

(a)発表論文集への論文掲載、(b)発表が割り当てられたセッションでの 90 分間のポスター掲示、(c)指定された 45 分間の在席、および、(d)質問者との個別討論への参加の 4 件を満たすことで、公式発表として認められます。当日の発表と討論は、責任発表者(プログラム中の○印)が行ってください。

掲示

ポスターは「A0 サイズ縦長」以内としてください。パネル上部に発表番号を掲示してありますので、所定の位置をご利用ください。画鋏はポスター会場にご用意します。ポスターの最上段には「題目」、「氏名」、「所属」を明記してください。

発表者は、セッション開始時刻までにポスターを掲示してください。セッション終了後は速やかに撤収してください。両日ともに、最終セッション終了後、撤収されなかったポスターは会期終了後に大会準備委員会が廃棄します。

在席責任時間

1 つのセッションは 90 分です。在席責任時間は、発表番号(P で始まる 4 桁の数字)が奇数の方は前半の 45 分間、偶数の方は後半の 45 分間です。

3. 連名発表者による代行と発表取消

責任発表者がやむを得ない事情により欠席する場合、準備委員会の事前の承認を得た上で、連名発表者が発表を代行することができます。承認を得ていない場合、公式発表として認められないことがあります。また、口頭発表において発表の取消があった場合、その後の発表スケジュールの繰り上げは行いません。座長の指示に従い、討論や休憩などの時間にあててください。代行や取り消しについては、早めに準備委員会までご連絡ください。

4. ワークショップ

時間

1 企画全体で 90 分とします。企画者や司会者のもとで自由に進行していただきます。終了時間は厳守してください。

機器

各会場にはプロジェクタとスクリーンが設置されています。ノート PC (OS: Windows10, Microsoft Office PowerPoint2016) を用意しますので、データは USB メモリでご持参ください。Mac や iPad 等の場合はお手持ちのものをお使いください(プロジェクタとの接続アダプタは用意できません)。ご自身の機器をご利用の場合は、必ずセッション開始前に接続確認をしておいてください。レーザーポインタもご準備します。備え付け PC をご利用の場合はデータをデスクトップ上にコピーしていただいてもかまいません。セッション終了後すぐに準備委員会の責任において削除します。

配布資料

各自で必要部数をご準備の上、発表会場にご持参ください。ワークショップ開始前に会場係にお渡しいただければ配布をお手伝いし、ワークショップ開始後は会場出入口付近に置かせていただきます。

会場レイアウト

会場により異なります。会場案内平面図に収容定員を記載しております。

打ち合わせスペース

ワークショップの打ち合わせにご利用いただける部屋については、企画者に個別にご連絡いたします。複数のワークショップの共用となる場合もありますのでご了承ください。

5. ご連絡・お問い合わせ

大会準備委員会へのご連絡は、E-mail (jssp2022@tachibana-u.ac.jp) でお願ひします。大会開催中は大会本部(優心館 E101)にお越しいただいても結構です。交通機関の遅延や事故等による不測の事態により、ご自身の研究発表セッションの開始予定時間に間に合わない可能性が生じた場合は、なるべく早くご連絡ください。

託児のご案内

大会期間中、月齢2ヶ月以上12歳(小学校6年生)までのお子様を対象とした託児室を設置します。託児室の利用を検討されている方は、以下をご覧になり、必要な情報を大会準備委員会まで電子メールでお知らせください。当日の要領など詳細については個別にご連絡させていただきます。ご質問なども遠慮なくお知らせください。

準備の都合上、お申し込みは 8月26日(金) までにお願ひします。この日までにご予定がはっきりしない場合はお早めにご相談ください。

1. 託児料

1日につき1,000円

2. 託児時間

両日ともに、プログラム開始30分前から終了15分後まで

1日目:9時00分～18時00分

2日目:9時00分～17時30分

※お食事の際は、保護者様に一度お引き取りいただきますようお願いいたします。飲み物やおやつについては、必要であればお預かりいたしますので、ご用意ください。1歳未満のお子さんの場合は、事前に個別でご相談させていただきます。

3. 託児場所

京都橘大学キャンパス内(具体的な場所はお申し込みをいただいた方に別途お知らせします)

4. 託児委託先

京都橘大学心理臨床センター

※保育士が対応し、公認心理師がサポートします

※本センターに直接連絡されても対応されませんので、必ず大会準備委員会を通してください

5. ご連絡いただきたい内容とご連絡先

- 1) 申込者とお子様の氏名(ふりがな)
- 2) お子様の大会時の年齢(3歳未満の場合は月齢まで)・性別
- 3) 託児予定日・時間
- 4) 緊急連絡先
- 5) アレルギーなど注意する必要があることがら
- 6) 1歳未満のお子さんの場合、授乳や離乳食等に関するご要望(折り返しご連絡・ご相談いたします)

6. 申し込み先

大会準備委員会 jssp2022@tachibana-u.ac.jp

7. 申し込み締め切り

8月26日(金)

この日までに予定がはっきりしない場合は、その旨を早めにご相談ください。

備考

本サービス実施には日本社会心理学会の大会時託児室設置費補助金(20万円)を活用しています。

託児料は、大会における託児室設置(暫定)ガイドライン(2004年7月18日総会決定)に基づくものです。

第1日目 9月14日(水)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
		9:30 10:30	10:45 11:45		12:45 14:15	14:30 16:00		16:30 17:45		
H301		口頭101 集団1	口頭104 集団2		総会	準備委員会企画 シンポジウム		口頭107 態度・信念		
H302		9:30 10:30 口頭102 社会問題1	10:45 11:45 口頭105 社会問題2					16:30 17:30 口頭108 社会病理		
H402		9:30 10:30 口頭103 自己・パーソナ リティ	10:45 11:45 口頭106 政治意識・政治 行動			14:30 16:00 WS01 ウクライナ復興支援を 考える		16:30 17:30 口頭109 援助		
H401		10:00 11:30 ポスター11						16:15 17:45 ポスター12		
H501	休憩室									
H401 および アカデミックリンクス 4F	書籍販売・機器展示									

第2日目 9月15日(木)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
		9:30 10:30	11:00 12:00		13:00 14:15	14:30 15:30	15:45 17:15			
H301		口頭201 社会的交換1	口頭204 社会的交換2		口頭207 対人関係・対人 相互作用	口頭210 ステレオタイ プ・社会	WS02 社会心理学における 構成概念の測定再考			
H302		9:30 10:30 口頭202 安全・防災	11:00 12:00 口頭205 消費・ライフ スタイル		13:00 14:15 口頭208 産業・組織	14:30 15:30 口頭211 社会的認知	15:45 17:15 WS03 『民主主義の実験』を巡 る社会心理学への期待			
H402		9:30 10:30 口頭203 文化1	11:00 12:00 口頭206 文化2		13:00 14:00 口頭209 感情・動機	14:30 15:30 口頭212 コミュニケー ション	15:45 17:15 WS04 マインドセット研究の これからを考える			
H401		10:00 11:30 ポスター21			13:30 15:00 ポスター22					
B201				12:10 12:50 学会活動 委員会企画 (事前申込制)			15:45 17:15 WS05 学際的な社会心理学の 構築を目指して			
H501		休憩室								
H401 および アカデミックリンクス 4F		書籍販売・機器展示								

より良い消費社会を実現するためには？ —社会心理学の可能性の検討—

企画者： 日本社会心理学会第63回大会準備委員会

司会者： 永野 光朗 (京都橘大学)

話題提供者： 杉本 徹雄 (上智大学)

竹村 和久 (早稲田大学)

秋山 学 (神戸女子大学)

指定討論者： 山口 裕幸 (九州大学)

概要

現代の社会に生きるわれわれ人間にとって消費（商品やサービスを購入、使用する過程）は欠かすことができない重要な課題である。一方で商品やサービスを消費者に適切に供給する企業活動は多くの人の業（なりわい）であることも自明である。

このような「消費者利益」と「企業利益」が相反することなく、両者が有形・無形のものを含めた利益を得ることが社会全体の向上につながることは言うまでもないが、消費の多様や情報伝達手段の進歩により、企業による過剰な利益確保（詐欺的商法など）が消費者の利益を損ない、また消費者による過剰なクレームが結果的に自身の損益につながるという事例が多く生じている。

このような問題の解決のためには人間である消費者の心理・行動特性を客観的に理解することが必要であると考えられる。社会心理学は環境問題、交通問題、医療問題など様々な社会問題の解決のために多大な貢献をしているが、本シンポジウムでは、ミクロな単位としての人間の行動を十全に理解することで「消費」に関する問題を解決し、マクロな社会全体の幸福・安寧をどのように確立していくことが可能であるのか？を「社会心理学の可能性」をキーワードとして検討する。

個人の利益、企業の利益を統合した視点での消費者行動研究の展開は、社会全体の利益を高め、結果的に個々人のウェルビーイングを高め、SDGsの実現を達成することで社会全体のレベルを高め、存続につながると確信している。その実現のために社会心理学がどのように貢献できるかを探っていく。

ウクライナ復興支援を日本の復興研究から考える

ーウクライナ人を助けたい気持ちはウクライナが復興するまで続くかー

企画者： 小林 智之（福島県立医科大学）・石山 裕菜（京都橘大学）

司会者： 石山 裕菜（京都橘大学）

話題提供者： 小林 智之（福島県立医科大学）

川崎 一平（京都橘大学）

江 子正（京都大学大学院法学研究科）

小國 龍治（立命館大学）

指定討論者： 川上 正浩（大阪樟蔭女子大学）

概要

ウクライナ国内で過酷な戦争状態が続く中、多くの人々がウクライナに共感し、援助の手を差し伸べようとしている。戦争終結後、破壊された都市にウクライナの人々が戻れるように復興について考えていく必要がある。2022年3月22日にウクライナのゼレンスキー大統領が国会で暗に言及したように、日本は東日本大震災や福島第一原発事故からの復興を続けている。本ワークショップでは、日本国内の復興研究や対人援助研究の知見からウクライナの復興支援について考える。

福島第一原発事故においては、発生当時は「がんばろう日本!」のような被災者支援の風潮が全国的に見られたものの、原発避難が長期化するうち、被災者に対する差別や無関心さが見られていった。その背景には、被災者を受け入れることによる社会的資源の分配による不満や、事故の被害に共感できるような刺激の不足などの心理的な要因がある。インフラやコミュニティが破壊されたウクライナにおいても、その復興に多くの年月を要することが予測され、同様の問題がウクライナ国内外で発生することが懸念される。

本ワークショップでは、避難者の集団間葛藤、対人援助、国連憲章体制下の安全保障、モラルの専門家が話題提供者となり、オーディエンスと共に多角的な視点からウクライナの復興支援を考える。なお、本ワークショップは、メンチメーター (<https://www.mentimeter.com/>) というソフトウェアを用い、話題提供者から提案された課題について参加者とインタラクティブに意見交換を行いながら進行することを予定している。

社会心理学における構成概念の測定再考 ―理論と測定モデルの接合―

企画者： 清水 裕士 (関西学院大学)

話題提供者： 水野 景子 (関西学院大学)

柏原 宗一郎 (関西学院大学)

清水 裕士 (関西学院大学)

指定討論者： 石黒 格 (立教大学)

概要

社会心理学では、態度、志向性、パーソナリティなど、さまざまな構成概念の測定が行われている。しかし、現状の社会心理学における測定は、それらの構成概念についての理論的な定義と、測定方法の対応が必ずしも明確になっているわけではない。たとえば態度測定やパーソナリティ測定において無批判にリッカート尺度が利用されてしまっている。一方で、社会心理学で使われる様々な心理的構成概念は他の社会科学、たとえば行動経済学や計量政治学、計量社会学といった学問分野に輸出されており、一層社会心理学者の「測定に対する理解」が求められているといえる。

本ワークショップでは、社会心理学における概念の理論的定義と測定方法の接合を試み、「何が測定されているのか」について説明可能な心理測定の枠組みを提案する。具体的には、まずは清水が社会心理学における概念の測定と、社会科学における役割について論じる。続いて水野氏が社会的価値志向性について、社会選好のモデルとの相同性を比較しながら、測定モデルと新しい測定課題を提案する。そして、柏原氏は潜在連合テストを用いた潜在的態度および自尊心の測定について、認知心理学のモデルに基づいた新しいモデルと、理論的に妥当な測定課題を探索した研究例を紹介する。最後に清水が、社会心理学で中心的な役割を演じてきた「社会的態度」についての理論的整理を行い、それを測定するための新しいモデルを提案した研究をお話する。

指定討論では、社会心理学と数理・計量社会学の両分野で活躍されている石黒格氏に、社会心理学における心理測定が、これからどのように社会科学で貢献しうるかなどについて議論をしていただく。

『民主主義の実験』を巡る社会心理学への期待

企画者： 大沼 進 (北海道大学)

話題提供者： 中澤 高師 (東洋大学)

辰巳 智行 (豊橋創造大学)

白松 俊 (名古屋工業大学)

指定討論者： 有馬 淑子 (京都先端科学大学)

概要

“民主主義”は一つの理念であり伝統的には規範の学問で扱われてきた。しかし、理念を唱えるだけでは現実問題への対処には不十分である。建設的な話し合いが成立する討議の場づくりの要件は何か、それらを妨げる要因は何か、そして、どうすればその仕組みが現実の社会に実装可能なのか、などについて、実証的な知見の積み重ねが求められる。

本企画では、各方面で試みがはじまっている“民主主義の実験”について、社会心理学外の学問領域における取り組みを紹介していただき、それを通じて社会心理学がすべきこと、期待されることをフロアのみなさまとディスカッションしたい。“民主主義の実験”の射程は単なる事実や現象の羅列を越えた問題解決の道筋を探ることも含む。これはLewinのスピリッツとも整合的なはずである。

最初に、企画者から“民主主義”の範囲や、社会科学における近年の取り組みを紹介する。続いて、一人目の話題提供者(中澤・辰巳)から、社会学や政治学で広まっている討議デモクラシーについて、既存研究の問題点と、それを克服するための討議の質を評価する指標について紹介し、実際に行われた事例から討議の質を評価した研究を発表する。二人目の話題提供者(白松)は人工知能(AI)研究の観点から、反復的な試行錯誤を伴う合意形成プロセスを仮定した議論支援手法や、意見の対立を越えた上位の解決案を導く「止揚」を促進する議論支援手法の実験的試行を紹介する。また、参加型民主主義プラットフォームの実践的な取り組みも紹介する。以上を受け、指定討論者(有馬)は、両発表内容が社会心理学における知見に照らし合わせてどのように接続可能なのかについて講評する。

マインドセット研究のこれからを考える：「社会的動物」からのパースペクティブ

企画者： 竹橋 洋毅（奈良女子大学）・尾崎 由佳（東洋大学）

話題提供者： 岩本 慧悟（東洋大学）

尾崎 由佳（東洋大学）

鈴木 啓太（立命館大学）

指定討論者： 沼崎 誠（東京都立大学）

概要

人々は、特性や世界のありようについての個人的な信念をもつ。これは、マインドセットあるいは暗黙理論と呼ばれ、個人の目標追求や精神健康などに影響を及ぼすという知見が蓄積している（e.g., Dweck & Yeager, 2018; Walton & Crum, 2020）。現実で直面する状況はあまりに複雑で、情報量が多すぎるため、人は情報を単純化し、理解を容易にするための心的メカニズムをもち、マインドセットはその一つであると考えられている（Crum, Salovey, & Achor, 2013）。マインドセットは直面する状況の解釈のしかたに関わる要因であり、予言の自己成就的に状況への反応に影響を及ぼす（Walton & Crum, 2020）。

マインドセット研究は人が「変わることができる」という素晴らしい側面を描き出すが、人は生物学的・遺伝的な制約も受けている。また、進化心理学的な視点からすると、我々の好み、思考、能力の多くを形成する究極因は他者への影響である（Hippel, Hippel, & Suddendorf, 2021）。そのような「社会的動物であるという人の性」をよく理解し、それに合わせた形で行動変容を促すことは、社会心理学の知見の現実場面への応用を考えていく上では重要であろう（Forgas, 2020）。実際、マインドセット介入は学力改善への効果が限定的であるというメタ分析（Sisk, Burgoyne, Sun, Butler, & Macnamara, 2018）が報告されているが、近年ではマインドセット介入が周りの人々（例：教師）からは是認される場合には有効であるが、そうでない場合には効果がみられないという知見も報告され始めている（Reeves, Henderson, Cohen, Steingut, Hirschi, & Yeager, 2021）。マインドセット研究では孤独な目標追求という視点に焦点をあてるものが大半だったが、対人的な視点を導入することでマインドセット効果をより深く理解できる可能性がある。

そのファーストステップとして、本ワークショップでは「人と関わる×マインドセット」をキーワードとした研究知見を共有し、マインドセット研究の未来について議論したいと考えている。まず、岩本氏はストレスや能力のマインドセットが他者（例えば、部下や採用候補者）に対する推測や評価に与える影響に関する研究を紹介し、主に産業・組織場面での「他者との関わり」においてマインドセットに着目する意義や課題について議論する。次に、尾崎氏は「ストレスは溜まるもの」という捉え方（ストレス蓄積マインドセット）に注目し、そうした信念が少なくとも一部の人々に共有されていることや、その帰結としてもたらされうる悪影響、そしてマインドセット介入による改善の可能性について議論する。そして、鈴木氏は『人と関わる』を少し広範囲に捉え、教育制度とマインドセットの関連性について議論する。最後に、沼崎氏から指定討論を頂いた上で、フロアからご意見を頂き、マインドセット研究について皆で一緒に考えることができれば幸いである。

学際的な社会心理学の構築を目指して ―若手研究者のための教育講演―

企画者： 高岸 治人 (玉川大学)・山田 順子 (立正大学)

司会者： 山田 順子 (立正大学)

話題提供者： 阿部 匡樹 (北海道大学・非会員)

石原 暢 (神戸大学・非会員)

永澤 美保 (麻布大学・非会員)

西谷 正太 (福井大学・非会員)

概要

ヒトの社会性に関する研究はここ10年で急激に学際化の一途をたどっている。質問紙や行動実験のみでは捉えられないヒトの社会性の本性を解き明かすために、脳画像解析、ホルモン解析、遺伝子解析における最先端の解析技術を総動員した研究が展開されている。今後、社会心理学分野においてこの傾向はますます高まっていくことが予想されるが、それに伴い将来の社会心理学業界を担う若手研究者に要求される知識量も飛躍的に増えていくと考えられる。そのような状況の中、社会心理学を志す若手研究者が参加する学会にてヒトの社会性を扱う学際的な研究発表を聞く場を設けることは若手育成の観点からも意義が高いと考える。そこで本ワークショップでは、認知神経科学、健康・スポーツ科学、行動内分泌学、生命情報学を専門とする研究者によるヒトの社会性における最先端の研究成果の発表を教育講演として実施する。

阿部先生には、ヒトの協力行動に関わる脳機能について2台のfMRIによる同時計測（ハイパースキャン）についての研究をご報告いただく。石原先生には、体組成、体力などの健康関連指標と向社会性の関係についての研究をご報告してもらう。永澤先生には、ヒトとイヌの間の社会的絆の形成に関するオキシトシンの役割についての研究をご報告してもらう。西谷先生には、被虐待経験が子どもの脳発達やDNAメチル化に与える影響、および老化の指標としてのDNAメチル化年齢の活用についての研究をご報告してもらう。

本ワークショップは教育講演のため通常の指定討論者は設けず、研究発表の時間を長めにとる。また研究発表後にフロアによる質疑を実施する。

O101 口頭発表

第1日 (9月14日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス3階 H301教室

集団1

座長 水野 景子

O1011	9:30 ~ 9:45 社会的ジレンマ状況における罰の逆効果 —Remove the sanction パラダイムによる検討—	○水野 景子 清水 裕士	関西学院大学・日本学術振興会 関西学院大学
O1012	9:45 ~ 10:00 集団課題で二八の法則は生じるか？	○棗田 みな美 横田 晋大 中西 大輔	広島修道大学 広島修道大学 広島修道大学
O1013	10:00 ~ 10:15 自信がない人ほど多数派の行動を過剰に模倣するの か？ 多数派同調バイアスに関する実験的検討	○藤川 真子 横田 晋大 徳岡 大 中西 大輔	広島修道大学 広島修道大学 人間環境大学 広島修道大学
O1014	10:15 ~ 10:30 多数派，少数派，ローカルな多数派 社会的影響モデルからの検討	○高木 英至	埼玉大学

O102 口頭発表

第1日 (9月14日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス3階 H302教室

社会問題1

座長 島田 貴仁

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| O1021 | 9:30 ~ 9:45
Subjective well-beingと認知的方略・社会的ネットワークとの関連 | ○福沢 愛
繁樹 江里
菅原 育子 | 東京大学
青山学院大学
西武文理大学 |
| O1022 | 9:45 ~ 10:00
中年期の就労経験が高齢女性のインターネット利用に与える影響 | ○竹内 真純
片桐 恵子 | 神戸大学・日本学術振興会
神戸大学 |
| O1023 | 10:00 ~ 10:15
対人葛藤場面における社会的情報処理
—ヴァーチャルリアリティを用いた主観・客観視点の比較— | ○吉澤 寛之
松下 光次郎
笹竹 佑太
兼田 知弥
大隅 尚広
吉田 琢哉
浅野 良輔 | 岐阜大学
岐阜大学
岐阜大学
岐阜大学
千葉大学
岐阜聖徳学園大学
久留米大学 |
| O1024 | 10:15 ~ 10:30
Covid-19による高齢者の対人相互作用および日常活動の変化
パンデミック前後のパネル調査による個人要因・地区要因の検討 | ○島田 貴仁
高木 大資
讃井 知
春田 悠佳 | 科学警察研究所
東京大学
上智大学
上智大学 |

O103 口頭発表

第1日 (9月14日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス4階 H402教室

自己・パーソナリティ

座長 堀毛 一也

- | | | | |
|-------|--|--|--|
| O1031 | 9:30 ~ 9:45
オキシトシン受容体遺伝子のメチル化と向社会行動の
関連 | ○寿 秋露
仁科 国之
佐々木 哲彦
村山 美穂
高岸 治人 | 玉川大学・日本学術振興会
大阪大学
玉川大学
京都大学
玉川大学 |
| O1032 | 9:45 ~ 10:00
状態セルフ・コンパッションに関する潜在プロフィール
分析 | ○宮川 裕基
Kristin D. Neff | 追手門学院大学
The University of Texas at Austin |
| O1033 | 10:00 ~ 10:15
攻撃性が痛みの表現語の評価に及ぼす影響 | ○伊藤 みなみ
増井 啓太 | 追手門学院大学
追手門学院大学 |
| O1034 | 10:15 ~ 10:30
ポジティブな「状況」に関する研究 (6)
—強みと状況認知による心理的ウェル・ビーイングの予
測— | ○堀毛 一也
堀毛 裕子 | 東洋大学
東北学院大学 |

O104 口頭発表

第1日 (9月14日) 10:45 ~ 11:45 アカデミックリンクス3階 H301教室

集団2

座長 森下 雄輔

O1041	10:45 ~ 11:00 リスクと変動性下における適応的な学習： 強化学習の進化シミュレーションによる検討	○本間 祥吾 竹澤 正哲	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学
O1042	11:00 ~ 11:15 協力行動は集団を超え、伝播するか —公共財ゲームを用いた実験的検討—	○貴堂 雄太 山下 笑 渡辺 舜 本間 祥吾 竹澤 正哲	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学 北海道大学 北海道大学・日本学術振興会 北海道大学
O1043	11:15 ~ 11:30 リーダーと自分、および同僚との関係の差が公正感と リーダー評価に与える影響	○森下 雄輔 谷口 淳一 宮川 裕基	帝塚山大学 帝塚山大学 追手門学院大学
O1044	11:30 ~ 11:45 欺瞞アウェアネスが欺瞞表出に及ぼす影響の検討	○黒川 優美子 秋山 学	神戸学院大学 神戸学院大学・神戸女子大学

O105 口頭発表

第1日 (9月14日) 10:45 ~ 11:45 アカデミックリンクス3階 H302教室

社会問題2

座長 浦 光博

- | | | | |
|-------|--|----------------|--------------|
| O1051 | 10:45 ~ 11:00
SNS上での炎上の目撃者の対処行動
目撃者と炎上者の親密度と炎上者への態度に着目した
検討 | ○張 時毓
荒井 崇史 | 東北大学
東北大学 |
| O1052 | 11:00 ~ 11:15
組織成員の勢力感を規定する要因の探索
—オンラインパネルを用いた予備的質問票調査— | ○佐々木 秀綱 | 横浜国立大学 |
| O1053 | 11:15 ~ 11:30
ウクライナ侵攻後のロシアによる代理報復が被害者集団
の感情及び和解的態度に与える効果 | ○熊谷 智博 | 法政大学 |
| O1054 | 11:30 ~ 11:45
社会的孤立・孤独の何が問題なのか | ○浦 光博 | 追手門学院大学 |

O106 口頭発表

第1日 (9月14日) 10:45 ~ 11:45 アカデミックリンクス4階 H402教室

政治意識・政治行動

座長 稲増 一憲

- | | | | |
|-------|--|----------------------------------|----------------------------------|
| O1061 | 10:45 ~ 11:00
政治家の出世と「声」
大臣就任記者会見音声の周波数分析 | ○岡田 陽介 | 拓殖大学 |
| O1062 | 11:00 ~ 11:15
公共的討議における最不遇者情報が議論評価に与える効果
低濃度除去土壌県外処理問題を題材とした集団討議実験 | ○相馬 ゆめ
中澤 高師
辰巳 智行
大沼 進 | 北海道大学
東洋大学
豊橋創造大学
北海道大学 |
| O1063 | 11:15 ~ 11:30
知識の言語化は政治的有効性感覚を高めるか | ○岡田 葦生
稲増 一憲 | 関西学院大学
関西学院大学 |
| O1064 | 11:30 ~ 11:45
政治的立場が異なる他者は「マスメディアの影響を受けやすい」と認識されるのか | ○稲増 一憲
中越 みずき | 関西学院大学
関西学院大学 |

O107 口頭発表

第1日 (9月14日) 16:30 ~ 17:45 アカデミックリンクス3階 H301教室

態度・信念

座長 清水 裕士

- | | | | |
|-------|--|---|---|
| O1071 | 16:30 ~ 16:45
暗黙理論による課題選択方略の差異の実験的検討 | ○鈴木 啓太
村本 由紀子 | 立命館大学
東京大学 |
| O1072 | 16:45 ~ 17:00
脳のヒト-動物カメラ化は倫理的懸念を強めるか
—生命倫理的課題に対する判断の実証的検討— | ○谷辺 哲史
渡辺 匠
小口 峰樹
飯島 和樹
太田 紘史 | 埼玉県立大学
北海道教育大学
玉川大学
玉川大学
新潟大学 |
| O1073 | 17:00 ~ 17:15
説得による態度変容過程の認知モデリング
二次分析のための事前登録の実践 | ○若井 大成
岡田 謙介 | 東京大学
東京大学 |
| O1074 | 17:15 ~ 17:30
物語接触と心的対比が関連行動の生起に及ぼす影響 | ○小森 めぐみ | 淑徳大学 |
| O1075 | 17:30 ~ 17:45
分配の正義は選好と規範のどちらで説明できるのか | ○清水 裕士 | 関西学院大学 |

O108 口頭発表

第1日 (9月14日) 16:30 ~ 17:30 アカデミックリンクス3階 H302教室

社会病理

座長 池内 裕美

- | | | | |
|-------|---|-------------------------|-------------------------------------|
| O1081 | 16:30 ~ 16:45
社会的地位と協調性が集団への新規参入者の受容に与える影響 | ○陳 佳玉
五十嵐 祐 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O1082 | 16:45 ~ 17:00
カスタマーハラスメントの行動特性と適切な対応方略の検討
対人葛藤場面における葛藤解決方略の見地から | ○池内 裕美 | 関西大学 |
| O1083 | 17:00 ~ 17:15
新型コロナ禍の救急活動に起因するストレス
コロナ禍における救急隊員のストレス (9) | ○松井 豊
秋本 陽子
畑中 美穂 | 筑波大学
(特非) 日本消防ピアカウンセラー協会
名城大学 |
| O1084 | 17:15 ~ 17:30
新型コロナ禍の救急活動に起因するストレスの分類
コロナ禍における救急隊員のストレス (10) | ○畑中 美穂
秋本 陽子
松井 豊 | 名城大学
(特非) 日本消防ピアカウンセラー協会
筑波大学 |

O109 口頭発表

第1日 (9月14日) 16:30 ~ 17:30 アカデミックリンクス4階 H402教室

援助

座長 新谷 優

- | | | |
|-------|---|---|
| O1091 | 16:30 ~ 16:45
被援助者人数と実体性が援助意図に及ぼす影響 | ○ハン ショウグン 明治学院大学
田中 知恵 明治学院大学
藤浪 遼太郎 明治学院大学 |
| O1092 | 16:45 ~ 17:00
お節介と非難されても援助してよかったと思えるのはなぜか
非ゼロサム時間と援助に対する満足感について | ○新谷 優 法政大学
Syamil Yakin Ohio State University |
| O1093 | 17:00 ~ 17:15
エピソードシミュレーションによる援助要請の促進 | ○古橋 健悟 科学警察研究所
五十嵐 祐 名古屋大学 |
| O1094 | 17:15 ~ 17:30
性別役割規範と対人関係が援助要請意図に与える影響
—相談相手の種類に着目して— | ○菊池 辰哉 神戸大学
片桐 恵子 神戸大学 |

O201 口頭発表

第2日 (9月15日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス3階 H301 教室

社会的交換1

座長 前田 楓

O2011	9:30 ~ 9:45 なぜ非協力を罰するのか? 二者間協力における評判の検討	○新井 さくら John Tooby Leda Cosmides	University of California, Santa Barbara University of California, Santa Barbara University of California, Santa Barbara
O2012	9:45 ~ 10:00 一般的信頼および見知らぬ他者と協力する傾向が両方高く学習される条件の検討	○宮崎 聖人 高橋 伸幸	北海道大学 北海道大学
O2013	10:00 ~ 10:15 間接互惠性状況における、情報伝達バイアスの至近因の検討	○川村 樹 真島 理恵 高橋 伸幸	北海道大学 北海道医療大学 北海道大学
O2014	10:15 ~ 10:30 社会的交換ヒューリスティック仮説の再検討 囚人のジレンマゲームにおける協力者の意思決定時間および利得表への注視パタンの分析	○前田 楓 橋本 博文 谷田 林士	立教大学 大阪公立大学 大正大学

O202 口頭発表

第2日 (9月15日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス3階 H302教室

安全・防災

座長 大友 章司

O2021	9:30 ~ 9:45 ケア提供者のもつアサーティブネスの力 —訪問看護師が利用者から受ける暴力への抑制効果—	○相馬 敏彦 藤田 愛 花井 理紗	広島大学 北須磨訪問看護・リハビリセンター 神戸市看護大学
O2022	9:45 ~ 10:00 コロナ禍からの生活復興感の規定因 2021年4月の復興カレンダー調査による検討	○大友 章司 木村 玲欧	関東学院大学 兵庫県立大学
O2023	10:00 ~ 10:15 放射線リスクに関する情報発信と受け手の理解 (2) デブスインタビューによる知識と経験の抽出	○小杉 素子 桑垣 玲子 土屋 智子	静岡大学 (一財) 電力中央研究所 (一社) 複合リスク学際研究・協働ネットワーク
O2024	10:15 ~ 10:30 消防職員の被災地ボランティア活動による職員の意識の変化 消防職員の被災地ボランティア活動研究 (2)	○秋本 陽子 松井 豊	東京消防庁 筑波大学

O203 口頭発表

第2日 (9月15日) 9:30 ~ 10:30 アカデミックリンクス4階 H402教室

文化1

座長 谷口 友梨

- | | | | |
|-------|---|------------------|------------------|
| O2031 | 9:30 ~ 9:45
心理的距離と原因帰属の関係
日本とアメリカの比較研究 | ○谷口 友梨 | 滋賀県立大学 |
| O2032 | 9:45 ~ 10:00
相互作用場面における相互独立・協調的人物に対する選好 | ○比留間 圭輔
清成 透子 | 青山学院大学
青山学院大学 |
| O2033 | 10:00 ~ 10:15
ソーシャルサポート提供とその動機づけの日米比較
— 一気まずさと気遣いという関係懸念の2側面に着目して — | ○田中 里奈
石井 敬子 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O2034 | 10:15 ~ 10:30
攻撃性に関する日本・英語文化比較
TwitterAPIを用いた“あおり運転”に関する分析 | ○安念 保昌 | 札幌保健医療大学 |

O204 口頭発表

第2日 (9月15日) 11:00 ~ 12:00 アカデミックリンクス3階 H301教室

社会的交換2

座長 高岸 治人

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| O2041 | 11:00 ~ 11:15
社会的価値志向性とモデルフリー・モデルベース学習
—マルコフ型状態遷移課題を用いた検討— | ○小口 峰樹
李 楊
松本 良恵
清成 透子
山本 和彦
杉浦 繁貴
坂上 雅道 | 玉川大学
名古屋大学
西南学院大学
青山学院大学
(株)コンポン研究所
(株)コンポン研究所
玉川大学 |
| O2042 | 11:15 ~ 11:30
制度選択場面におけるエルファロル・バー・ゲームの
実験的検討
格差が広がっても人は反協調ゲームから離脱しないの
か？ | ○須山 巨基
佐藤 浩輔
犬飼 圭吾 | 安田女子大学・明治学院大学
明治大学
明治学院大学 |
| O2043 | 11:30 ~ 11:45
集団に有益な規範の文化進化:
計算論モデルによる文化的集団淘汰理論の実証的検
討 | ○阿部 紗采
土田 修平
竹澤 正哲 | 北海道大学
北海道大学
北海道大学 |
| O2044 | 11:45 ~ 12:00
思春期世代の子どもの向社会行動を支える脳機能・脳
構造
マルチモーダルMRIデータを用いた検討 | ○高岸 治人
石原 暢
山田 順子
松田 哲也 | 玉川大学
神戸大学
立正大学
玉川大学 |

O205 口頭発表

第2日 (9月15日) 11:00 ~ 12:00 アカデミックリンクス3階 H302教室

消費・ライフスタイル

座長 日比野 愛子

O2051	11:00 ~ 11:15 培養肉の理解における技術情報の影響	○日比野 愛子 古橋 麻衣 相部 かおり 竹内 昌治	弘前大学 日清食品ホールディングス(株) 日清食品ホールディングス(株) 東京大学
O2052	11:15 ~ 11:30 スマホ利用者のライフスタイル研究Ⅰ —スマホ利用者の利用意識による分類とその特性—	○小島 誠也 飽戸 弘	(株)NTTドコモ 東京大学
O2053	11:30 ~ 11:45 スマホ利用者のライフスタイル研究Ⅱ —小中学生でスマホを持たせる親の特性—	○水野 一成 近藤 勢津子 飽戸 弘	(株)NTTドコモ (株)NTTドコモ 東京大学
O2054	11:45 ~ 12:00 スマホ利用者のライフスタイル研究Ⅲ —ペアレンタルコントロールを実施している親の特性—	○近藤 勢津子 水野 一成 飽戸 弘	(株)NTTドコモ (株)NTTドコモ 東京大学

O206 口頭発表

第2日 (9月15日) 11:00 ~ 12:00 アカデミックリンクス4階 H402教室

文化2

座長 内田 由紀子

- | | | | |
|-------|---|----------------------------|--|
| O2061 | 11:00 ~ 11:15
集団間対立および集団内対立の規定要因
—分析的認知傾向・関係的認知傾向が対立感情に与える影響— | ○福島 慎太郎 | 東京女子大学 |
| O2062 | 11:15 ~ 11:30
負の観察学習が技術的文化進化に及ぼす役割 | ○中分 遥
小林 豊 | 高知工科大学
高知工科大学 |
| O2063 | 11:30 ~ 11:45
ヴァーチャル・リアリティ (VR) と現実社会における信頼・利他行動・関係流動性
VR上のコミュニティメンバーを対象とした調査 | ○Yang Li
山田 順子
水口 陽太 | 名古屋大学
立正大学
Oxford Brookes University |
| O2064 | 11:45 ~ 12:00
地域の開放性はコロナ禍において変化したのか
地域パネルデータからの検討 | ○内田 由紀子
竹村 幸祐
福島 慎太郎 | 京都大学
滋賀大学
東京女子大学 |

O207 口頭発表

第2日 (9月15日)

13:00 ~ 14:15 アカデミックリンクス3階 H301教室

対人関係・対人的相互作用

座長 木村 昌紀

O2071	13:00 ~ 13:15 SNS カウンセリングのロールプレイにおける感情の同期	○中山 真孝 畑中 千紘 鈴木 優佳 粉川 尚枝 内田 由紀子 杉原 保史 河合 俊雄	京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学
O2072	13:15 ~ 13:30 二者間のモチベーション伝染メカニズムに関する検討 —オンライン実験によるAPIMを用いた推定—	○上原 秀斗 池田 浩	九州大学 九州大学
O2073	13:30 ~ 13:45 謝罪場面のお辞儀が反省知覚に与える影響	○藤田 尚弓 青山 有希 喜田 智也 杉森 絵里子	早稲田大学 東京女子体育短期大学 (株)ボルトクオーレ 早稲田大学
O2074	13:45 ~ 14:00 化粧や衣服の類似性が対人魅力に及ぼす影響	○木村 昌紀 森末 理沙 藤井 菜穂	神戸女学院大学 神戸女学院大学 神戸女学院大学
O2075	14:00 ~ 14:15 あなたが幸せなら私も幸せ —北米人夫婦の縦断ペアデータによる検討—	○浅野 良輔 金政 祐司 古村 健太郎 伊藤 健一	久留米大学 追手門学院大学 弘前大学 Nanyang Technological University

O208 口頭発表

第2日 (9月15日) 13:00 ~ 14:15 アカデミックリンクス3階 H302教室

産業・組織

座長 横井 良典

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| O2081 | 13:00 ~ 13:15
人工知能に仕事を取られたとき、人はどのような原因帰属を行うのか | ○横井 良典 | 京都橘大学 |
| O2082 | 13:15 ~ 13:30
AIの感情能力と道徳能力
「感情読取」や「感情経験」能力がありそうなAIは道徳的に見えるか | ○膳場 百合子 | 早稲田大学 |
| O2083 | 13:30 ~ 13:45
クラス替えによる生徒の心理的安全性の変化
潜在差得点モデルを用いた検討 | ○今城 志保 | (株)リクルートマネジメントソリューションズ |
| O2084 | 13:45 ~ 14:00
働く人の幸福に結びつく組織風土とは
経営学の組織文化論と文化心理学の接合 | ○渡邊 寧
竹村 幸祐
中山 真孝
Matthias S. Goebel
内田 由紀子 | 京都大学
滋賀大学
京都大学
University of Exeter
京都大学 |
| O2085 | 14:00 ~ 14:15
主観的報酬が退職及び離職意図に与える影響
介護福祉士を対象とした3波パネル調査 | ○井川 純一
徳岡 大
五百竹 亮丞
中西 大輔 | 東北学院大学
人間環境大学
広島文教大学
広島修道大学 |

O209 口頭発表

第2日 (9月15日) 13:00 ~ 14:00 アカデミックリンクス4階 H402教室

感情・動機

座長 竹橋 洋毅

- | | | | |
|-------|--|-------------------------------|--------------------------------------|
| O2091 | 13:00 ~ 13:15
セルフコンパッションとストレス：
経験サンプリング法を用いた検討 | ○石井 敬子
佐藤 麻綾 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O2092 | 13:15 ~ 13:30
自己制御ニーズに着目したサポートの有効性について
の検討 | ○竹橋 洋毅
加藤 由夏 | 奈良女子大学 |
| O2093 | 13:30 ~ 13:45
主観的身体変化尺度を用いた身体知覚変化の測定
—葛藤の伴う意思決定場面 (1) — | ○杉浦 秀一 | 放送大学 |
| O2094 | 13:45 ~ 14:00
道徳的な気遣い、情動と環境に配慮した道徳判断
怒りと嫌悪を媒介変数とした日本人とアメリカ人データモ
デルの検討 | ○高松 礼奈
Charlie R. Crimston | 京都大学
The University of Queensland |

O210 口頭発表

第2日 (9月15日) 14:30 ~ 15:30 アカデミックリンクス3階 H301 教室

ステレオタイプ・社会

座長 高 史明

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| O2101 | 14:30 ~ 14:45
職業スティグマに関する神経表象
DISTATISによる検証 | ○柳澤 邦昭
八田 紘和
中井 隆介
杉浦 仁美
阿部 修士 | 神戸大学
京都大学
近畿大学
京都大学 |
| O2102 | 14:45 ~ 15:00
高齢者一般の健康状態に対する印象と高齢者への態度 | ○清水 佑輔
橋本 剛明
唐沢 かおり | 東京大学・日本学術振興会
東洋大学
東京大学 |
| O2103 | 15:00 ~ 15:15
「特権認知」の測定指標の検討 | ○高 史明
高野 雅典
森下 壮一郎
小川 祐樹 | 東洋大学
(株)サイバーエージェント
(株)サイバーエージェント
立命館大学 |
| O2104 | 15:15 ~ 15:30
力の感覚が評判懸念に与える影響の検討
パワープライミングを用いた事前登録実験 | ○今田 大貴
Tim Hopthrow | University of Kent
University of Kent |

O211 口頭発表

第2日 (9月15日) 14:30 ~ 15:30 アカデミックリンクス3階 H302教室

社会的認知

座長 五十嵐 祐

- | | | | |
|-------|---|-----------------------------------|--------------------------------------|
| O2111 | 14:30 ~ 14:45
道徳判断における同調：
認知的完結欲求による調整効果 | ○朴 ゴウン
石井 敬子 | 名古屋大学
名古屋大学 |
| O2112 | 14:45 ~ 15:00
社会的空想と孤独感：
経験サンプリング法による検討 | ○五十嵐 祐
平島 太郎
光永 悠彦
吉田 琢哉 | 名古屋大学
愛知淑徳大学
名古屋大学
岐阜聖徳学園大学 |
| O2113 | 15:00 ~ 15:15
リーダーのジェンダーと行動がリーダーの評価に与える
影響
—シナリオを用いた実験的検討— | ○藤浪 遼太郎
田中 知恵 | 明治学院大学
明治学院大学 |
| O2114 | 15:15 ~ 15:30
住居流動性が印象形成プロセスに及ぼす影響 | ○小宮 あすか
方 予辰 | 広島大学
広島大学 |

O212 口頭発表

第2日 (9月15日) 14:30 ~ 15:30 アカデミックリンクス4階 H402教室

コミュニケーション

座長 真島 理恵

- | | | | |
|-------|--|--------------------------|---------------------------------|
| O2121 | 14:30 ~ 14:45
非常時における買い溜め行動抑制に有効なメッセージの検討 | ○真島 理恵
池田 結花
鈴木 ねね | 北海道医療大学
労働者健康安全機構
北海道医療大学 |
| O2122 | 14:45 ~ 15:00
SNSにおける自己開示が帰属意識に及ぼす効果 | ○劉 星廷
楠見 孝 | 京都大学
京都大学 |
| O2123 | 15:00 ~ 15:15
コロナに対する恐怖感情が警告ラベルの有効性に与える影響 | ○陳 晗
竇 雪 | 立命館大学
立命館大学 |
| O2124 | 15:15 ~ 15:30
新型コロナウイルス感染症における報道フレーミング | ○劉 放
竹村 和久 | 早稲田大学
早稲田大学 |

P11 ポスター発表

第1日 (9月14日) 10:00 ~ 11:30 アカデミックリンクス4階 H401 教室

在席責任時間 奇数番号: 10:00 ~ 10:45 偶数番号: 10:45 ~ 11:30

P1101	特異値分解を用いた人口データの分析 新型コロナウイルス感染症陽性者数との関連の検討	○川杉 桂太 村上 始 李 之林 倉島 健 戸田 浩之 竹村 和久	早稲田大学 北海学園大学 早稲田大学 日本電信電話(株) 日本電信電話(株) 早稲田大学
P1102	項目の位置による中間選択率の違い 非対称な回答形式での検討	○増田 真也	慶應義塾大学
P1103	特性ノスタルジアと共感性の関連における道徳アイデンティティの役割	○長峯 聖人 外山 美樹	東海学園大学 筑波大学
P1104	抑うつは思考抑制と反すうの関連を強める	○服部 陽介	大手前大学
P1105	自己統制を柔軟に発揮できる有限理論の個人の強みとは	○外山 美樹 長峯 聖人 湯 立 三和 秀平 浅山 慧	筑波大学・CRET 東海学園大学・CRET 東京成徳大学・CRET 信州大学・CRET 筑波大学・CRET
P1106	特定の感情がその後の判断の深さに与える影響について 説得におけるネガティブ感情とヒューリスティック傾向	○中島 裕人 山 祐嗣	大阪公立大学 大阪公立大学
P1107	感謝特性が物質主義傾向に与える影響	○白木 優馬	愛知学院大学
P1108	関係流動性はなぜ成功状況での誇りと羞恥の経験を左右するのか 自己意識的感情の動機付けに注目した検討	○前田 友吾 結城 雅樹	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学
P1109	日本の子どものセロニントランスポーター遺伝子多型と感情制御との関連	○風間 みどり 平林 秀美 唐澤 真弓	小田原短期大学 東京女子大学 東京女子大学
P1110	大学生はどのような言葉でモチベーションを高めているか	○伊藤 忠弘	学習院大学
P1111	上昇／下降トレンドと価値判断	○野田 理世 田邊 宏樹 木村 誠人	金城学院大学 名古屋大学 コニカミノルタ(株)
P1112	サンプルサイズ・ヒューリスティックと推測の保守性 Krueger & Clement (1994) の直接的追試	○藤島 喜嗣	昭和女子大学
P1113	静止画の評価判断におけるCalibration effectsの検討	○井上 秀一郎 森尾 博昭	関西大学 関西大学
P1114	相対的剥奪と非就業の原因帰属との関連 —公正世界信念の調整効果の検討—	○李 葦理 三浦 麻子 金政 祐司	大阪大学 大阪大学 追手門学院大学
P1115	新型コロナウイルスへの感染は不運か? (2)	○村上 幸史	

ポスター発表P11 第1日

P1116	行動理由の自己報告がプライミング効果の抑制に及ぼす影響	○佐藤 春樹 及川 昌典 及川 晴	同志社大学 同志社大学 同志社大学
P1117	劣等感が優れたターゲットに対する非人間化に及ぼす影響 優れた領域とジェンダーの調整効果に関する検討	○朴 建映 李 禕飛 沼崎 誠	東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学
P1118	Dark Triadが新型コロナウイルス感染症患者への偏見的態度に及ぼす影響 内在的公正推論による調整効果の検討	○増井 啓太	追手門学院大学
P1119	外国人労働者の打たれ強さに関する認知バイアスの検討	○田戸岡 好香	高崎経済大学
P1120	女子大生の発達障がい者理解促進要因としてのメディア—当事者による情報発信が及ぼす心理的影響—	○上野 桃歌 唐澤 真弓	東京女子大学 東京女子大学
P1121	性別による理系能力に関する評価基準の変移現象(2)	○菅 さやか	慶應義塾大学
P1122	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の脅威に伴う感染予防行動と外国人への排斥的態度の変化(3) 2020年1月から2022年3月の18波パネル調査に基づく検討	○山縣 芽生 寺口 司 三浦 麻子	大阪大学 大阪大学 大阪大学
P1123	差別すべきでないと思っていでも実際には差別してしまっていると意識することは差別の解消につながるのか	○辻本 光英 伊藤 忠弘	北海道大学 学習院大学
P1124	性別情報が職業的なリーダーの選択に及ぼす影響	○石井 国雄	清泉女学院大学
P1125	二要因モデルに基づく職業選択における利益最大化傾向尺度の作成	○須藤 美佳 石黒 格	立教大学 立教大学
P1126	人一般の感情的視点取得能力信念尺度の作成	○鈴木 雄大 坂本 真士	日本大学 日本大学
P1127	スポーツ・運動に対する2種類の潜在的態度 シングルカテゴリー IATを用いた検討	○大橋 恵 澤海 崇文 井梅 由美子 藤後 悦子	東京未来大学 流通経済大学 東京未来大学 東京未来大学
P1128	新型コロナウイルス感染禍の下でのワクチン接種意図	○眞嶋 良全	北星学園大学
P1129	不公正世界信念尺度作成のための予備調査	○西辻 好花 三浦 麻子	大阪大学 大阪大学
P1130	多元的正当化における脅威の効果の検討	○川嶋 伸佳	神奈川大学
P1131	自己批判への肯定的信念がセルフコンパッションの働きに及ぼす効果	○巻田 晴香 及川 昌典 及川 晴	同志社大学 同志社大学 同志社大学
P1132	無知の自覚が社会政策に対する態度の緩和に及ぼす影響	○松村 楓 橋本 博文	大阪市立大学 大阪公立大学

ポスター発表P11 第1日

P1133	説得されやすさに関する自己知覚が陰謀論信念に及ぼす影響 論理的思考への自覚の変化に着目して	○笠原 伊織 唐沢 穰	名古屋大学 名古屋大学
P1134	社会的迷惑行為に対する制止の効果 「警備員」の職業威信はどのくらい効果的か	○田村 美恵 寛 みくり	神戸市外国語大学 (株)ジェイアール西日本総合ビルサービス
P1135	メッセージに対するフレーミングと精緻化が企業イメージに及ぼす影響	○田中 知恵	明治学院大学
P1136	生活史理論にもとづく結婚希望年齢の予測 (1) 大学生を対象とした Web 調査から	○樋口 収 新井田 恵美	明治大学 東洋大学
P1137	生活史理論にもとづく結婚希望年齢の予測 (2) 一般市民を対象とした Web 調査から	○新井田 恵美 樋口 収	東洋大学 明治大学
P1138	オタクとはどんな人々なのか? (7) アイドルオタクのアイドルへの好意度に着目して	○高田 治樹 菊地 学 尹 成秀	医療創生大学 岩手県立大学 帝京大学
P1139	オタクとはどんな人々なのか? (8) 社会的アイデンティティと精神的健康における相違	○菊地 学 高田 治樹 尹 成秀	岩手県立大学 医療創生大学 帝京大学
P1140	オタクとはどんな人々なのか? (9) 青年期の友人関係の特徴との関連	○尹 成秀 高田 治樹 菊地 学	帝京大学 医療創生大学 岩手県立大学
P1141	APPLE II の妥当性の検討 (1) 不思議現象に対する態度 67	○小城 英子 坂田 浩之 川上 正浩	聖心女子大学 大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学
P1142	不思議現象に対する態度と Big Five との関連 不思議現象に対する態度 (68)	○坂田 浩之 川上 正浩 小城 英子	大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学 聖心女子大学
P1143	不思議現象に対する態度と制御欲求との関連 (2) 不思議現象に対する態度 (69)	○川上 正浩 小城 英子 坂田 浩之	大阪樟蔭女子大学 聖心女子大学 大阪樟蔭女子大学

P12 ポスター発表

第1日 (9月14日) 16:15 ~ 17:45 アカデミックリンクス4階 H401 教室

在席責任時間 奇数番号: 16:15 ~ 17:00 偶数番号: 17:00 ~ 17:45

P1201	集団が崩壊する危機における集団のレジリエンス コロナ禍における大学のチームスポーツ団体を対象として	○尾関 美喜 鯀田 晋次郎 吉村 利佐子 酒向 治子	岡山大学 岡山大学 兵庫教育大学 岡山大学
P1202	包摂性の構成要素に関する一般化可能性の検討	○坂田 桐子 小宮 あすか 森永 康子	広島大学 広島大学 広島大学
P1203	モンゴル遊牧社会における互酬性への期待の機能の 検討 ウランバートル市とTuv県の都市近郊部の遊牧民を対象として	○坂本 剛 鬼木 俊次 Kadirbyek Dagys 平田 昌弘	中部大学 国際農林水産業研究センター Mongolian University of Life Sciences 帯広畜産大学
P1204	パロキアリズムと関連する社会的要因の探索 Romano et al. (2021) の再分析	○水鳥 翔伍 高橋 伸幸	北海道大学・日本学術振興会 北海道大学
P1205	複数グループメンバーシップと大学のレポート課題の成績の関連性	○後藤 伸彦	一橋大学
P1206	集団性質の違いと内集団ひいきにおける心理メカニズムの変化 外集団脅威と集団同一視に着目した検討	○中川 裕美 横田 晋大 中西 大輔	東北福祉大学 広島修道大学 広島修道大学
P1207	間接互惠状況における感情的な非合理的利他主義者の評判	○小野田 竜一	大東文化大学
P1208	搾取という選択肢がアップストリーム互惠性に与える影響	○梅谷 凌平 山本 仁志 後藤 晶 岡田 勇 秋山 英三	筑波大学 立正大学 明治大学 創価大学 筑波大学
P1209	集合行為を支える自主的な参加のメカニズムの検討	○森 隆太郎 花木 伸行 亀田 達也	東京大学 大阪大学 東京大学
P1210	男性の育児休業取得に関する多元的無知 原因帰属が規範逸脱行動に及ぼす効果	○加藤 由衣 村本 由紀子	東京大学 東京大学
P1211	文化的世界観への脅威が外集団攻撃行動に及ぼす影響 恐怖管理理論に基づく実験研究	○大坪 快 山口 裕幸	九州大学 九州大学
P1212	受け入れ拒否はなぜ生じるのか? Belief in a Zero-Sum Gameの観点から検討	○柏原 宗一郎 清水 裕士	関西学院大学 関西学院大学
P1213	移民のステレオタイプが国民性の価値観に与える影響 権利と民族性による国民性の定義に着目して	○塚本 早織	愛知学院大学
P1214	集団間関係における集団的所有権脅威の影響 どのような脅威に誰が反応しやすいのか?	○井奥 智大 綿村 英一郎	大阪大学 大阪大学

ポスター発表P12 第1日

P1215	パンデミック発生時における感染脆弱意識と外集団への否定的感情との関連性	○陳 小羽 森尾 博昭	関西大学 関西大学
P1216	職場チームの心理的安全性はメンバーの社会性の影響を調整するか 社会的感受性、自己制御、心理的安全性が集団パフォーマンスに及ぼす影響	○原田 知佳 土屋 耕治	名城大学 南山大学
P1217	副業とリカレント教育がワークエンゲイジメントに与える効果 「知覚された組織支援」理論に基づく制度自体と利用の効果の検討	○正木 郁太郎 池田 晃一 森田 舞	東京女子大学 (株)オカムラ (株)オカムラ
P1218	組織における女性活躍推進に対する意識 潜在ランク理論による分析	○鈴木 文子 安達 菜穂子	(公社)国際経済労働研究所 広島大学
P1219	組織体犯罪はなぜ生じるのか 自己統制の役割	○中川 知宏 林 洋一郎	近畿大学 慶應義塾大学
P1220	大学生アスリートの心理的安全性がバーンアウトにおよぼす影響 競技不安と心理的競技能力を介して	○上田 寛 朝倉 智大 大前 杏織 佐藤 寛 中島 健一郎	広島大学 関西学院大学 関西学院大学 関西学院大学 広島大学
P1221	性役割は女性の昇進意欲に影響を与えるか —SESRA, ジェンダー・ハラスメントに注目して—	○櫻井 直子 三浦 麻子	大阪大学 大阪大学
P1222	評判低下予測と感染予防行動の関連 関係流動性の調整効果に着目した検討	○岩谷 舟真 村本 由紀子	東京大学 東京大学
P1223	SNS上の安心さがし行動に対する感情反応の検討 —安心さがしされるとどのような気持ちになるか—	○長谷川 孝治 古里 由香里 古谷 嘉一郎 佐藤 広英	駒澤大学 立教大学 北海学園大学 信州大学
P1224	Twitterへの投稿を利用したセンチメント分析の利用可能性 東京2020オリンピック競技大会へのネガティブな態度の分析	○小西 直喜 遠藤 一樹 林 麗佳 大坪 庸介	産業技術総合研究所 東京大学 東京大学 東京大学
P1225	大学生のTwitterやInstagramにおける態度の検討 オンライン上の自己開示やSNSストレスを中心に	○中尾 元 石盛 真徳 Igor De Almeida 原田 章 長岡 千賀 金川 智恵	追手門学院大学 追手門学院大学 京都大学 追手門学院大学 追手門学院大学 追手門学院大学
P1226	低年齢の子どものインターネット利用に対する技術的介入がインターネット理解に及ぼす影響	○松尾 由美 田島 祥 坂元 章	江戸川大学 東海大学 お茶の水女子大学
P1227	物語形式による情報伝達が対人認知に及ぼす影響について —犯罪報道場面における容疑者の素性に関する伝達を題材として—	○金田 宗久 伊藤 君男 岡本 真一郎	愛知学院大学 東海学園大学 愛知学院大学

ポスター発表P12 第1日

P1228	映画レビューサイトの利用とユーザーのシネリテラシー育成との関連性について —中国のウェイボー、豆瓣、Mtime（時光網）を例として—	○李 莹钰	文教大学
P1229	ユーモア志向と享楽志向がバラエティ番組に対する“許容度”に与える影響	○正木 誠子	日本大学
P1230	パッケージの画像がパッケージの好感度に及ぼす影響 —チョコレートパッケージのケース—	○浅川 雅美 岡野 雅雄	文教大学 文教大学
P1231	新型コロナウィルスの不安と倫理的消費 —年代からの検討—	○泉水 清志	育英短期大学
P1232	生活配分タイプの年代による違い	○依藤 佳世 阿部 晋吾 八木 隆一郎	(公社) 国際経済労働研究所 関西大学 (公社) 国際経済労働研究所
P1233	ハッシュタグチャレンジ広告の視聴印象	○岡野 雅雄	文教大学
P1234	システム正当化理論の観点から捉える低所得層の政治参加	○中越 みづき 稲増 一憲	関西学院大学 関西学院大学
P1235	生活保護の責任帰属と公正感受性との関連	○高橋 彩	三重短期大学
P1236	無作為抽出と熟議の反復が参加者と地域住民に与える影響 —行政への信頼と手続き的公正—	○前田 洋枝	南山大学
P1237	Dark Triadと心理的IPVは相互に強化し合うのか？ 4波の縦断調査からの検討	○金政 祐司 宮川 裕基 荒井 崇史	追手門学院大学 追手門学院大学 東北大学
P1238	メディア利用と日本人意識 (7) 世の中の出来事の情報入手タイプと東京オリンピック・パラリンピックの開催への賛否	○山下 玲子 有馬 明恵 藤井 達也	東京経済大学 東京女子大学 武蔵大学
P1239	メディア利用と日本人意識 (8) 世の中の出来事の情報入手タイプとオリンピック・パラリンピックの開催決定で重視する事柄	○有馬 明恵 山下 玲子 藤井 達也	東京女子大学 東京経済大学 武蔵大学
P1240	テレビ視聴が性差別意識に及ぼす効果 メディア表現のダイバーシティと態度 (6)	○麻生 奈央子 渋谷 明子 大坪 寛子 祥雲 暁代 坂元 章 大倉 韻	東京福祉大学 成城大学 慶應義塾大学 立教大学 お茶の水女子大学 東京医科歯科大学
P1241	ゲームのジェンダー描写への接触がジェンダー観に及ぼす影響 メディア表現のダイバーシティと態度 (7)	○渋谷 明子 麻生 奈央子 大坪 寛子 祥雲 暁代 坂元 章 大倉 韻	成城大学 東京福祉大学 慶應義塾大学 立教大学 お茶の水女子大学 東京医科歯科大学

ポスター発表P12 第1日

- | | | | |
|-------|--|--|--|
| P1242 | テレビ番組での性的マイノリティへの単純接触効果とその持続性
メディア表現のダイバーシティと態度 (8) | ○大坪 寛子
渋谷 明子
麻生 奈央子
祥雲 暁代
坂元 章
大倉 韻 | 慶應義塾大学
成城大学
東京福祉大学
立教大学
お茶の水女子大学
東京医科歯科大学 |
| P1243 | 互恵性不安と友人志向の関連に関する日中比較 | ○林 萍萍 | 神戸大学 |

P21 ポスター発表

第2日 (9月15日) 10:00 ~ 11:30 アカデミックリンクス4階 H401 教室

在席責任時間 奇数番号: 10:00 ~ 10:45 偶数番号: 10:45 ~ 11:30

P2101	着席時における机の視覚要素が信頼に及ぼす影響: 丸い机は四角い机よりも他者を信頼しやすくなるのか	○前田 洋光 中山 由唯	京都橘大学 京都橘大学
P2102	動画内のモデルの摂食量が実験参加者の摂食量に及ぼす影響	○青山 謙二郎 出口 絢音 平井 南帆	同志社大学 同志社大学 同志社大学
P2103	クリティカルシンキングの社会的有用性の検討 学校適応感に着目して	○矢澤 順根 古川 善也 中島 健一郎	広島大学・日本学術振興会 広島大学 広島大学
P2104	罪悪感由来の向社会的行動は、誰がコストを負うのか 日・蘭の比較に関する事前登録型追試	○紀ノ定 保礼 古川 善也 中島 健一郎	静岡理工科大学 広島大学 広島大学
P2105	最小相互作用とwell-being 第2回全国パーソナル・ネットワーク調査による分析	○石黒 格	立教大学
P2106	愛想というコミュニケーション・スタイルと内的プロセスの関連	○伊藤 倫	名古屋大学
P2107	ネガティブ情動を和らげる返信に含まれる感情語の割合と有効性評価 J-LIWC2015を用いた検討	○野崎 優樹	甲南大学
P2108	大学生の写真撮影行動 撮影目的にみる写真の機能的意味	○林 幸史	大阪国際大学
P2109	間接的要求の慣習性とその認識について	○平川 真	広島大学
P2110	説明における制御適合効果の規定因 メッセージ・フレームによる制御適合効果の日米比較	○島田 拓司	天理大学
P2111	所属集団に関する説明が所属集団への説明者自身の評価に与える影響 ーオープンキャンパスに学部スタッフとして参加した大学生を対象としてー	○太幡 直也 菅 さやか 宮本 聡介	愛知学院大学 慶應義塾大学 明治学院大学
P2112	日常生活場面における他者操作方略の影響の再検討 (2) ー依頼なし統制条件の設定ー	○木川 智美 今城 周造	松山東雲短期大学 昭和女子大学
P2113	日本人大学生が苦手とする対人場面の検討 計量テキスト分析を通じて	○澤海 崇文 稲垣 勉 澄川 采加	流通経済大学・CRET 京都外国語大学・CRET 泉台小学校・CRET
P2114	社会場面における謝罪対象に関する検討	○井出野 尚 林 幹也 玉利 祐樹	東京理科大学 明星大学 静岡県立大学
P2115	ネタの対象によってユーモアの表出動機は異なるのか	○井上 悟 水野 邦夫 山本 恭子	神戸学院大学 帝塚山大学 神戸学院大学

ポスター発表P21 第2日

P2116	美容室の評価に影響する要因 インターネット上の口コミからの分析	○南 ミサ 松下 戦具	大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学
P2117	サイコパシーは互恵性の期待に応じるか？ 最小条件集団を用いた検討	○仁科 国之 横田 晋大	大阪大学 広島修道大学
P2118	「か弱くない被害者」に人々は共感するか —行為性の知覚による影響の検討—	○橋本 剛明	東洋大学
P2119	向社会的行動の対象による向社会的動機づけの性差	○山本 琢俣 上淵 寿	早稲田大学 早稲田大学
P2120	公正感受性は援助要請を促進するか 社会経済的地位による調整効果を含めての検討	○橋本 剛	静岡大学
P2121	実行注意の個人差が思いやりの減衰に及ぼす影響	○吉田 綾乃	東北福祉大学
P2122	武力保持の規定因を探る 保持/不保持選択付き先制攻撃ゲームによる検討	○大藺 博記 仲間 大輔	鹿児島大学 (株)リクルートマネジメントソリューションズ
P2123	WHRとWBRはどちらが魅力の要因となるのか —審美的魅力と性的魅力の2側面—	○鈴木 公啓 岸本 泰蔵 今井 浩	東京未来大学 (株)ワコール (株)ワコール
P2124	恋愛プライミングが高額消費に対する魅力の評価に及ぼす影響 評価者とターゲットの性別に注目した比較	○小野 由莉花 及川 昌典 及川 晴	京都橘大学 同志社大学 同志社大学
P2125	コロナ禍前後のシャイネスとソーシャルスキルの変化	○栗林 克匡	北星学園大学
P2126	意見が異なる相手との問題解決時の振る舞いと社会的スキルの関係	○石川 真	上越教育大学
P2127	恋愛への関心低下と愛着次元および時間的展望との関連	○Yifan Wang 福島 治	新潟大学 新潟大学
P2128	社会的痛みと収縮期血圧の関連を圧受容器反射感受性は媒介するか	○伊崎 翼 石井 圭 浅原 亮太 木村 健太 小峰 秀彦	(国研) 産業技術総合研究所 (国研) 産業技術総合研究所 (国研) 産業技術総合研究所 (国研) 産業技術総合研究所 (国研) 産業技術総合研究所
P2129	親密さによる社会的価値志向性への影響	○井上 心太 水野 景子 清水 裕士	関西学院大学 関西学院大学 関西学院大学
P2130	中学生が叱られる原因 叱られる相手と性別による違い	○阿部 晋吾	関西大学
P2131	コミットメントがもたらすパートナーの行為への評価バイアス —経験サンプリング法を用いた日常的相互作用についての検討—	○古村 健太郎 相馬 敏彦 金政 祐司 謝 新宇	弘前大学 広島大学 追手門学院大学 広島大学
P2132	赤色を身に着ける身体の部位がロマンティックレッド現象に及ぼす効果	○山下 倫実	十文字学園女子大学
P2133	一般的信頼と社会的ネットワークとの関係 関係流動性の認知と裏切り嫌悪の影響との比較	○堀田 結孝	帝京大学

ポスター発表P21 第2日

P2134	コロナ禍における女性のパーソナル・スペースの確保が心理的ストレスに及ぼす影響	○武藤 麻美 桂田 恵美子	阪南大学 関西学院大学
P2135	1歳児～小学6年生までの子どもをもつ母親の反芻・省察が個人的苦痛に及ぼす影響	○小池 はるか	東海大学
P2136	アクセサリ着用による人物イメージの伝達	○遠藤 健治	青山学院大学
P2137	PDアプローチの道徳ジレンマにおける道徳不活性化の影響	○古川 善也	広島大学
P2138	防衛的悲観主義は異なる文脈でも一貫しているか	○趙 曉辰 中村 真	宇都宮大学 宇都宮大学
P2139	パーソナリティ特性とSNS利用がアンチファン心理に及ぼす影響 (2) アンチファンの類型化による検討	○向居 暁	県立広島大学
P2140	道徳観の個人差が規範の認知に与える影響 フレーミングに注目した検討	○田中 友理 松尾 朗子 小俣 克之 塚本 早織	多摩大学 東京大学 (株)マクロミル 愛知学院大学
P2141	Covid-19パンデミック下での行動免疫と内外集団への態度 日本、中国、米国、英国、伊国での3年間のWeb調査から	○平石 界 三浦 麻子 中西 大輔 Andrea Ortolani 山縣 芽生 三船 恒裕 李 楊	慶應義塾大学 大阪大学 広島修道大学 立教大学 大阪大学 高知工科大学 名古屋大学
P2142	オンライン・スピードデーティングに関する検討 (1) —学生を対象とした試行実施の結果—	○西村 太志 相馬 敏彦 鬼頭 美江 谷口 淳一 山田 順子 金政 祐司 宮川 裕基	広島国際大学 広島大学 明治学院大学 帝塚山大学 立正大学 追手門学院大学 追手門学院大学
P2143	オンライン・スピードデーティングに関する検討 (2) —自己呈示の様態についての検討—	○谷口 淳一 相馬 敏彦 西村 太志 金政 祐司 鬼頭 美江 山田 順子 宮川 裕基	帝塚山大学 広島大学 広島国際大学 追手門学院大学 明治学院大学 立正大学 追手門学院大学

P22 ポスター発表

第2日 (9月15日) 13:30 ~ 15:00 アカデミックリンクス4階 H401 教室

在席責任時間 奇数番号: 13:30 ~ 14:15 偶数番号: 14:15 ~ 15:00

P2201	日本人の情緒不安定性・主導性・非内省性の時代変化 多変量状態空間モデルを用いた再分析	○下司 忠大 萩原 千晶 小塩 真司	立正大学 早稲田大学 早稲田大学
P2202	BIS/BASが衝動的な食行動に与える影響	○安達 未来 安達 啓介	大阪電気通信大学 神戸学院大学
P2203	Web版サークルテストの開発および妥当性・信頼性の検証	○田邊 美奈子	放送大学
P2204	子どもの認知能力と心理的適応をつなぐ遺伝と環境 双生児データを用いた行動遺伝学的検討	○敷島 千鶴 川本 哲也 赤林 英夫 安藤 寿康	帝京大学 国士舘大学 慶應義塾大学 慶應義塾大学
P2205	ギャンブル勝利時の音声刺激が深い行動に与える影響	○足立 吉規 五十嵐 祐	名古屋大学 名古屋大学
P2206	客観的な情報を反映したリスク認知と関連する要因 ニューメラシーと数字情報への焦点化の個人差に着目して	○長谷 和久	神戸学院大学
P2207	新型コロナウイルス感染禍とシステム正当化	○村山 綾 三浦 麻子 北村 英哉	近畿大学 大阪大学 東洋大学
P2208	福島県産農作物の購買意図と関連する心理要因は改善したか? 原発事故11年後における検討	○埴田 健司 小森 めぐみ	東京未来大学 淑徳大学
P2209	放射線についての知識・信念の違いによる対象者分類 知識、信念、不安、態度、行動によるクラスター分析	○平井 啓 山村 麻予 松村 悠子 三浦 麻子 八木 絵香 坪倉 正治 大竹 文雄	大阪大学 関西福祉科学大学・大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学 福島県立医科大学 大阪大学
P2210	COVID-19ワクチン接種の促進・阻害要因 第3回追加接種開始後におけるデータからの検討	○工藤 大介 李 楊	東海学院大学 名古屋大学
P2211	新型コロナウイルスおよびワクチンについてのリスク認知 放送大学科目『危機の心理学』の受講生調査より	○森 津太子	放送大学
P2212	集団における認知的不協和: 日本人を対象とした検討	○伊規須 敦史 石井 敬子	名古屋大学 名古屋大学
P2213	アニメの視聴態度と聖地巡礼行動の関連	○玉宮 義之 鶴野 力也	白鷗大学 (株)ヨドバシカメラ
P2214	文化的自己観と生きがいの関連 日本人成人データによる検討	○繁樹 江里 福沢 愛 菅原 育子	青山学院大学 東京大学 西武文理大学

ポスター発表P22 第2日

P2215 発表日程変更

P2216	日本人と中国人は互いにどう認識するのか 異文化間コミュニケーションと低コンテクスト文化	○呉 長憶 山 祐嗣 Norhayati Zakaria	大阪公立大学 大阪公立大学 University of Wollongong in Dubai
P2217	オンライン脱抑制の構造の日中文化差 —中国語版多次元オンライン脱抑制尺度の作成—	○温 若寒 三浦 麻子	大阪大学 大阪大学
P2218	友人関係における関係流動性と親密性との関連 —日本と中国による比較—	○賈 琴 安藤 久美子 中島 健一郎	広島大学 愛知教育大学 広島大学
P2219	障害とQOL 関連指標に関する日米比較調査	○佐藤 剛介 Joanna Schug	久留米大学・高知大学 College of William & Mary
P2220	超自然的存在に対するイメージと原因帰属との関連 —心の知覚に着目して—	○佐藤 大志 坂田 桐子	広島大学 広島大学
P2221	新型コロナウイルスパンデミック状況下における感染脆弱意識 2 —2020/2021 年度とそれ以前との比較および生活史方略との関係の変化—	○沼崎 誠 中井 彩香 李 禕飛 朴 建映 松崎 圭佑	東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学 東京都立大学 帝京大学
P2222	Benevolent sexism and romantic attachment styles in Japan	○Nico Makian Yukiko Uchida	Kyoto University Kyoto University
P2223	高齢者のスマートフォン利用における困難と支援獲得 都市部在住高齢者に対するインタビュー調査をもとに	○北村 智 森 玲奈	東京経済大学 帝京大学
P2224	高齢者の未来時間展望の個人差とボランティア参加動機との関連	○高橋 えり 森尾 博昭	関西大学 関西大学
P2225	自動運転車のAI判断と正義観との関連	○北折 充隆 吉武 久美	金城学院大学 人間環境大学
P2226	犯罪不安尺度作成と妥当性の検討	○柴田 侑秀	北海道大学
P2227	部活健康度尺度の作成3 改訂尺度の妥当性の検討	○太田 仁 尾見 康博 西田 公昭	奈良大学 山梨大学 立正大学
P2228	「火事のメタファー」によるいじめ理解 教師教育における実装と効果測定	○ハッ塚 一郎	熊本大学
P2229	高校生のスマートフォン依存傾向の変化 —学年進行による変化—	○三島 浩路	中部大学
P2230	居住地域の住みやすさと居住地域の認識の明瞭さの関連 —主観的居住地認識尺度を用いて—	○澤田 奈々実 小塩 真司	早稲田大学 早稲田大学
P2231	環境コミュニケーションにおける他者の影響の決定木分析	○安藤 香織 足立 千尋 神原 歩 杉浦 淳吉 張 芸誼 大沼 進	奈良女子大学 北海道大学 京都先端科学大学 慶應義塾大学 奈良女子大学 北海道大学

ポスター発表P22 第2日

P2232	原発の恐ろしさ認知に対する死の顕現化の影響と自尊感情の調整効果	○辻川 典文	神戸親和女子大学
P2233	日常の防火行動が消防団員から伝播する？ ネット調査での検討	○竹村 幸祐 畑中 美穂 清水 裕士	滋賀大学 名城大学 関西学院大学
P2234	歩くことの社会心理学 (4) 散歩中の感情状態と精神的健康	○岡本 卓也	信州大学
P2235	対幼児へのおもちゃ購入における性ステレオタイプの影響と、バックラッシュ効果についての検討	○残華 雅子	奈良教育大学
P2236	企業語学研修において研修担当者が学習者のパフォーマンスに与える影響 Smart Habitを用いた3～6ヶ月間の英語研修を対象とした事例比較	○丹野 宏昭	(株)WizWe
P2237	メディア利用が学業成績に及ぼす影響 小学生、中学生、高校生を対象とした親子パネル調査の二次分析	○田島 祥	東海大学
P2238	学級集団の階層性を測定する手法の開発 (1) —SICSP法の妥当性の検討—	○有倉 巳幸 神山 貴弥 稲垣 勉	鹿児島大学 同志社大学 京都外国語大学
P2239	学級集団の階層性を測定する手法の開発 (2) —学級内地位認知と一般的信頼感およびコミュニケーション能力との関連—	○稲垣 勉 有倉 巳幸 神山 貴弥	京都外国語大学 鹿児島大学 同志社大学
P2240	地方移住をやめるとき (1) 移住帰還者の継続断念要因の検討	○加藤 潤三 前村 奈央佳	立命館大学 神戸市外国語大学
P2241	地方移住をやめるとき (2) 継続断念要因と属性の関連性	○前村 奈央佳 加藤 潤三	神戸市外国語大学 立命館大学
P2242	新生活に伴う孤独リスクの規定因を探る (1) 孤独感に影響する要因の検討	○中島 健一郎 戸谷 彰宏 阿部 夏希 李 受珉 加藤 樹里 神原 広平 重松 潤 清水 陽香	広島大学 愛媛大学 広島文教大学 広島大学・日本学術振興会 金沢工業大学 同志社大学 富山大学 西九州大学短期大学部
P2243	新生活に伴う孤独リスクの規定因を探る (2) 主観的健康度に影響する要因の検討	○戸谷 彰宏 阿部 夏希 李 受珉 加藤 樹里 神原 広平 重松 潤 清水 陽香 中島 健一郎	愛媛大学 広島文教大学 広島大学・日本学術振興会 金沢工業大学 同志社大学 富山大学 西九州大学短期大学部 広島大学

発表者索引

(太数字は責任発表者)

A

Almeida, Igor P1225

C

Cosmides, Leda O2011

Crimston, Charlie O2094

D

Dagys, Kadirbyek P1203

G

Goebel, Matthias O2084

H

Hopthrow, Tim O2104

L

Li, Yang O2063

M

Makian, Nico P2222

N

Neff, Kristin O1032

O

Ortolani, Andrea P2141

S

Schug, Joanna P2219

T

Tooby, John O2011

U

Uchida, Yukiko P2222

W

Wang, Yifan P2127

Y

Yakin, Syamil O1092

Z

Zakaria, Norhayati P2216

あ

相部 かおり O2051

青山 謙二郎 P2102

青山 有希 O2073

赤林 英夫 P2204

秋本 陽子 O1083 O1084 O2024

秋山 英三 P1208

秋山 学 SY01 O1044

飽戸 弘 O2052 O2053 O2054

浅川 雅美 P1230

朝倉 智大 P1220

浅野 良輔 O1023 O2075

浅原 亮太 P2128

浅山 慧 P1105

麻生 奈央子 P1240 P1241 P1242

安達 啓介 P2202

足立 千尋 P2231

安達 菜穂子 P1218

安達 未来 P2202

足立 吉規 P2205

阿部 紗采 O2043

阿部 晋吾 P1232 P2130

阿部 夏希 P2242 P2243

阿部 修士 O2101

阿部 匡樹 WS05

新井 さくら O2011

荒井 崇史

有馬 明恵

有馬 淑子

安藤 香織

安藤 久美子

安藤 寿康

安念 保昌

い

李 受珉

飯島 和樹

井梅 由美子

井奥 智大

五百竹 亮丞

五十嵐 祐

井川 純一

伊規須 敦史

池内 裕美

池田 晃一

池田 浩

池田 結花

伊崎 翼

石井 国雄

石井 圭

石井 敬子

石川 真

石黒 格

石原 暢

石盛 真徳

石山 裕菜

井出野 尚

伊藤 君男

伊藤 健一

伊藤 忠弘

伊藤 みなみ

伊藤 倫

稲垣 勉

稲増 一憲

犬飼 圭吾

井上 悟

井上 秀一郎

井上 心太

今井 浩

今城 周造

今城 志保

今田 大貴

岩谷 舟真

岩本 慧悟

う

上田 寛

上野 桃歌

上原 秀斗

上淵 寿

内田 由紀子

梅谷 凌平

浦 光博

え

遠藤 一樹

遠藤 健治

O1051 P1237

P1238 P239

WS03

P2231

P2218

P2204

O2034

P2242 P2243

O1072

P1127

P2124

O2085

O1081 O1093 O2112

P2205

O2085

P2212

O1082

P1217

O2072

O2121

P2128

P2124

P2128

O2033 O2091 O2111

P2212

P2126

WS02 P1125 P2105

WS05 O2044

P1225

WS01

P2114

P1227

O2075

P1110 P1123

O1033

P2106

P2113 P2238 P2239

O1063 O1064 P1234

O2042

P2115

P1113

P2129

P2123

P2112

O2083

O2104

P2122

WS04

P2120

P1120

O2072

P2119

O2064 O2071 O2084

P2108

O1054

P1224

P2136

お

及川 晴

及川 昌典

大倉 韻

大隅 尚広

大藺 博記

太田 紘史

太田 仁

大竹 文雄

大坪 快

大坪 寛子

大坪 庸介

大友 章司

大沼 進

大橋 恵

大前 杏織

岡田 葦生

岡田 勇

岡田 謙介

岡田 陽介

岡野 雅雄

岡本 真一郎

岡本 卓也

小川 祐樹

小口 峰樹

小國 龍治

尾崎 由佳

小塩 真司

尾関 美喜

鬼木 俊次

小野 由莉花

小野田 竜一

小俣 克之

尾見 康博

温 若寒

か

賈 琴

寛 みくり

笠原 伊織

風間 みどり

柏原 宗一郎

片桐 恵子

桂田 恵美子

加藤 樹里

加藤 潤三

加藤 由衣

加藤 由夏

金川 智恵

兼田 知弥

金田 宗久

金政 祐司

亀田 達也

唐沢 かおり

唐澤 真弓

唐沢 穰

河合 俊雄

川上 正浩

川崎 一平

P1116 P1131 P2124

P1116 P1131 P2124

P1240 P1241 P1242

O1023

P2122

O1072

P2227

P2209

P2121

P1240 P1241 P1242

P1224

O2022

WS03 O1062 P2231

P1127

P1220

O1063

P1208

O1073

O1061

P1230 P1233

P1227

P2234

O2103

O1072 O2041

WS01

WS04

P2201 P2230

P1201

P1203

P2124

P1207

P2140

P2227

P2217

P2218

P1134

P1133

P1109

WS02 P2121

O1022 O1094

P2134

P2242 P2243

P2240 P2241

P2120

O2092

P1225

O1023

P1227

O2075 P1114 P1237

P2131 P2142 P2143

P1209

O2102

P1109 P1120

P1133

O2071

WS01 P1141 P1142

P1143

WS01

川嶋 伸佳 **P1130**
 川杉 桂太 **P1101**
 川村 樹 **O2013**
 川本 哲也 P2204
 神原 歩 P2231
 神原 広平 P2242 P2243
 き
 木川 智美 **P2112**
 菊池 辰哉 **O1094**
 菊地 学 P1138 **P1139** P1140
 岸本 泰蔵 P2123
 喜田 智也 O2073
 北折 充隆 **P2225**
 北村 智 **P2223**
 北村 英哉 P2207
 鬼頭 美江 P2142 P2143
 貴堂 雄太 **O1042**
 紀ノ定 保礼 **P2104**
 木村 健太 P2128
 木村 誠人 P1111
 木村 昌紀 **O2074**
 木村 玲欧 O2022
 清成 透子 O2032 O2041
 く
 楠見 孝 O2122
 工藤 大介 **P2210**
 熊谷 智博 **O1053**
 倉島 健 P1101
 栗林 克匡 **P2125**
 黒川 優美子 **O1044**
 桑垣 玲子 O2023
 鋤田 晋次郎 P1201
 こ
 呉 長憶 **P2216**
 小池 はるか **P2135**
 江 子正 WS01
 神山 貴弥 P2238 P2239
 小島 誠也 **O2052**
 小城 英子 **P1141** P1142 P1143
 小杉 素子 **O2023**
 後藤 晶 P1208
 後藤 伸彦 **P1205**
 粉川 尚枝 O2071
 小西 直喜 **P1224**
 小林 智之 WS01
 小林 豊 O2062
 小峰 秀彦 P2128
 小宮 あすか **O2114** P1202
 古村 健太郎 O2075 **P2131**
 小森 めぐみ **O1074** P2208
 近藤 勢津子 O2053 **O2054**
 さ
 坂上 雅道 O2041
 坂田 桐子 **P1202** P2220
 坂田 浩之 P1141 **P1142** P1143
 坂元 章 P1226 P1240 P1241
 P1242
 坂本 剛 **P1203**
 坂本 真士 P1126
 櫻井 直子 **P1221**

酒向 治子 P1201
 佐々木 哲彦 O1031
 佐々木 秀綱 **O1052**
 笹竹 佑太 O1023
 佐藤 浩輔 O2042
 佐藤 剛介 **P2219**
 佐藤 春樹 **P1116**
 佐藤 寛 P1220
 佐藤 大志 **P2220**
 佐藤 広英 P1223
 佐藤 麻綾 O2091
 讃井 知 O1024
 澤海 崇文 P1127 **P2113**
 澤田 奈々実 **P2230**
 残華 雅子 **P2235**
 し
 敷島 千鶴 **P2204**
 繁桵 江里 O1021 **P2214**
 重松 潤 P2242 P2243
 柴田 侑秀 **P2226**
 渋谷 明子 P1240 **P1241** P1242
 島田 貴仁 **O1024**
 島田 拓司 **P2110**
 清水 陽香 P2242 P2243
 清水 裕士 WS02 O1011 **O1075**
 P1212 P1219 P2233
 清水 佑輔 **O2102**
 下司 忠大 **P2201**
 謝 新宇 P2131
 張 時毓 **O1051**
 寿 秋露 **O1031**
 祥雲 暁代 P1240 P1241 P1242
 白木 優馬 **P1107**
 白松 俊 WS03
 す
 菅 さやか **P1121** P2111
 菅原 育子 O1021 P2214
 杉浦 繁貴 O2041
 杉浦 秀一 **O2093**
 杉浦 淳吉 P2231
 杉浦 仁美 O2101
 杉原 保史 O2071
 杉本 徹雄 SY01
 杉森 絵里子 O2073
 鈴木 文子 **P1218**
 鈴木 啓太 WS04 **O1071**
 鈴木 公啓 **P2123**
 鈴木 ねね O2121
 鈴木 優佳 O2071
 鈴木 雄大 **P1126**
 須藤 美佳 **P1125**
 澄川 采加 P2113
 須山 巨基 **O2042**
 せ
 泉水 清志 **P1231**
 膳場 百合子 **O2082**
 そ
 相馬 敏彦 **O2021** P2131 P2142
 P2143
 相馬 ゆめ **O1062**

た
 高 史明 **O2103**
 高木 英至 **O1014**
 高木 大資 O1024
 高岸 治人 WS05 O1031 **O2044**
 高田 治樹 **P1138** P1139 P1140
 高野 雅典 O2103
 高橋 彩 **P1235**
 高橋 えり **P2224**
 高橋 伸幸 O2012 O2013 P1204
 高松 礼奈 **O2094**
 竹内 昌治 O2051
 竹内 真純 **O1022**
 竹澤 正哲 O1041 O1042 O2043
 竹橋 洋毅 WS04 **O2092**
 竹村 和久 SY01 O2124 P1101
 竹村 幸祐 O2064 O2084 **P2233**
 田島 祥 P1226 **P2237**
 辰巳 智行 WS03 O1062
 田戸岡 好香 **P1119**
 田中 知恵 O1091 O2113 **P1135**
 田中 友理 **P2140**
 田中 里奈 **O2033**
 田邊 宏樹 P1111
 田邊 美奈子 **P2203**
 谷口 淳一 O1043 P2142 **P2143**
 谷口 友梨 **O2031**
 谷田 林士 O2014
 谷辺 哲史 **O1072**
 太幡 直也 **P2111**
 玉宮 義之 **P2213**
 玉利 祐樹 P2114
 田村 美恵 **P1134**
 丹野 宏昭 **P2236**
 ち
 趙 曉辰 **P2138**
 張 芸誼 P2231
 陳 佳玉 **O1081**
 陳 晗 **O2123**
 陳 小羽 **P1215**
 つ
 塚本 早織 **P1213** P2140
 辻川 典文 **P2232**
 辻本 光英 **P1123**
 土田 修平 O2043
 土屋 耕治 P1216
 土屋 智子 O2023
 坪倉 正治 P2209
 鶴野 力也 P2213
 て
 出口 絢音 P2102
 寺口 司 P1122
 と
 寶 雪 O2123
 湯 立 P1105
 藤後 悦子 P1127
 徳岡 大 O1013 O2085
 戸田 浩之 P1101
 戸谷 彰宏 P2242 **P2243**
 外山 美樹 P1103 **P1105**

な

中井 彩香 P2221
 中井 隆介 O2101
 中尾 元 **P1225**
 長岡 千賀 P1225
 中川 知宏 **P1219**
 中川 裕美 **P1206**
 中越 みずき O1064 **P1234**
 中澤 高師 WS03 O1062
 永澤 美保 WS05
 中島 健一郎 P1220 P2103 P2104
 P2218 **P2242** P2243
 中島 裕人 **P1106**
 中西 大輔 O1012 O1013 O2085
 P1206 P2141
 永野 光朗 SY01
 仲間 大輔 P2122
 長峯 聖人 **P1103** P1105
 中村 真 P2138
 長谷 和久 **P2206**
 中山 真孝 **O2071** O2084
 中山 由唯 P2101
 中分 遥 **O2062**
 藁田 みな美 **O1012**
 に
 新井田 恵美 P1136 **P1137**
 新谷 優 **O1092**
 西田 公昭 P2227
 西谷 正太 WS05
 西辻 好花 **P1129**
 仁科 国之 O1031 **P2117**
 西村 太志 **P2142** P2143
 ぬ
 沼崎 誠 WS04 P1117 **P2221**
 の
 野崎 優樹 **P2107**
 野田 理世 **P1111**
 は
 萩原 千晶 P2201
 朴 ゴウン **O2111**
 朴 建映 **P1117** P2221
 橋本 剛明 O2102 **P2118**
 橋本 剛 **P2120**
 橋本 博文 O2014 P1132
 長谷川 孝治 **P1223**
 畑中 千紘 O2071
 畑中 美穂 O1083 **O1084** P2233
 八田 紘和 O2101
 服部 陽介 **P1104**
 花井 理紗 O2021
 花木 伸行 P1209
 埴田 健司 **P2208**
 林 幹也 P2114
 林 洋一郎 P1219
 林 幸史 **P2108**
 林 麗佳 P1224
 原田 章 P1225
 原田 知佳 **P1216**
 春田 悠佳 O1024
 ハン ショウグン **O1091**

ひ

樋口 収 **P1136** P1137
 日比野 愛子 **O2051**
 平井 啓 **P2209**
 平井 南帆 P2102
 平石 界 **P2141**
 平川 真 **P2109**
 平島 太郎 O2112
 平田 昌弘 P1203
 平林 秀美 P1109
 比留間 圭輔 **O2032**
 ふ
 福沢 愛 **O1021** P2214
 福島 治 P2127
 福島 慎太郎 **O2061** O2064
 藤井 達也 P1238 P1239
 藤井 菜穂 O2074
 藤川 真子 **O1013**
 藤島 喜嗣 **P1112**
 藤田 愛 O2021
 藤田 尚弓 **O2073**
 藤浪 遼太郎 O1091 **O2113**
 古川 善也 P2103 P2104 **P2137**
 古里 由香里 P1223
 古谷 嘉一郎 P1223
 古橋 健悟 **O1093**
 古橋 麻衣 O2051
 ほ
 方 予辰 O2114
 堀毛 一也 **O1034**
 堀毛 裕子 O1034
 堀田 結孝 **P2133**
 本間 祥吾 **O1041** O1042
 ま
 前田 楓 **O2014**
 前田 洋枝 **P1236**
 前田 洋光 **P2101**
 前田 友吾 **P1108**
 前村 奈央佳 P2240 **P2241**
 巻田 晴香 **P1131**
 正木 郁太郎 **P1217**
 正木 誠子 **P1229**
 真島 理恵 O2013 **O2121**
 真嶋 良全 **P1128**
 増井 啓太 O1033 **P1118**
 増田 真也 **P1102**
 松井 豊 **O1083** O1084 O2024
 松尾 朗子 P2140
 松尾 由美 **P1226**
 松崎 圭佑 P2221
 松下 光次郎 O1023
 松下 戦具 P2116
 松田 哲也 O2044
 松村 楓 **P1132**
 松村 悠子 P2209
 松本 良恵 O2041
 み
 三浦 麻子 P1114 P1122 P1129
 P1221 P2141 P2207
 P2209 P2217

三島 浩路 **P2229**
 水口 陽太 O2063
 水鳥 翔伍 **P1204**
 水野 一成 **O2053** O2054
 水野 邦夫 P2115
 水野 景子 WS02 **O1011** P2129
 光永 悠彦 O2112
 南 ミサ **P2116**
 三船 恒裕 P2141
 宮川 裕基 **O1032** O1043 P1237
 P2142 P2143
 宮崎 聖人 **O2012**
 宮本 聡介 P2111
 三和 秀平 P1105
 む
 向居 暁 **P2139**
 武藤 麻美 **P2134**
 村上 幸史 **P1115**
 村上 始 P1101
 村本 由紀子 O1071 P1210 P1222
 村山 綾 **P2207**
 村山 美穂 O1031
 も
 森 津太子 **P2211**
 森 隆太郎 **P1209**
 森 玲奈 P2223
 森尾 博昭 P1113 P1215 P2224
 森下 壮一郎 O2103
 森下 雄輔 **O1043**
 森末 理沙 O2074
 森田 舞 P1217
 森永 康子 P1202
 や
 八木 絵香 P2209
 八木 隆一郎 P1232
 矢澤 順根 **P2103**
 ハッ塚 一郎 **P2228**
 柳澤 邦昭 **O2101**
 山 祐嗣 P1106 P2216
 山縣 芽生 **P1122** P2141
 山口 裕幸 SY01 P1211
 山下 笑 O1042
 山下 倫実 **P2132**
 山下 玲子 **P1238** P1239
 山田 順子 WS05 O2044 O2063
 P2142 P2143
 山村 麻予 P2209
 山本 和彦 O2041
 山本 恭子 P2115
 山本 琢俣 **P2119**
 山本 仁志 P1208
 ゆ
 結城 雅樹 P1108
 有倉 巳幸 **P2238** P2239
 尹 成秀 P1138 P1139 **P1140**
 よ
 横井 良典 **O2081**
 横田 晋大 O1012 O1013 P1206
 P2117
 吉澤 寛之 **O1023**

発表者索引

吉田 綾乃	P2121
吉田 琢哉	O1023 O2112
吉武 久美	P2225
吉村 利佐子	P1201
依藤 佳世	P1232
り	
李 禕飛	P1117 P2221
李 莹钰	P1228
李 之林	P1101
李 楊	O2041 P2141 P2210
李 律理	P1114
劉 星廷	O2122
劉 放	O2124
林 萍萍	P1243
わ	
若井 大成	O1073
渡辺 舜	O1042
渡辺 匠	O1072
渡邊 寧	O2084
綿村 英一郎	P1214

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 sets of horizontal dashed lines.

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 sets of horizontal dashed lines.

日本社会心理学会第 63 回大会 賛助団体 御芳名

【広告・展示】

株式会社日本能率協会総合研究所
株式会社北大路書房
株式会社講談社
福村出版株式会社
株式会社ナカニシヤ出版
株式会社ブックマン京都
アイブリッジ株式会社
株式会社北樹出版
株式会社誠信書房
教育情報出版
株式会社有斐閣
株式会社ちとせプレス
株式会社風間書房
株式会社テキスト
株式会社 T.M.Community

(敬称略)

大会を開催するにあたり、上記各企業・団体より多大なご支援をいただきました。
ここにその御芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2022 年 8 月

日本社会心理学会第 63 回大会準備委員会

JSSIP 2022

日本社会心理学会

日本社会心理学会第 63 回大会 準備委員会

委員長 永野 光朗
事務局長 前田 洋光

委員 上北 朋子
坂本 敏郎
柴田 利男
岸 太一
田中 芳幸
濱田 智崇
石山 裕菜
木村 年晶
白木 優馬
中川 由理
小野 由莉花
横井 良典

ロゴデザイン 宮本 佳子(追手門学院大学)

日本社会心理学会第 63 回大会プログラム

発行日 2022 年 8 月 16 日
発行者 〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
京都橘大学健康科学部
日本社会心理学会第 63 回大会準備委員会